

2 元興寺旧境内の調査

元興寺旧境内では、本年度第42～44次調査の3件の発掘調査を実施した。いずれも個人住宅の建替えに伴う事前調査である。第42次調査は塔北側の築地、第43次調査は東面回廊、第44次調査は西面回廊が推定される地点でそれぞれ実施した。3件とも小規模な調査であり、伽藍に関連する遺構は確認されなかった。



元興寺旧境内 発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 東塔院推定地の調査 第42次

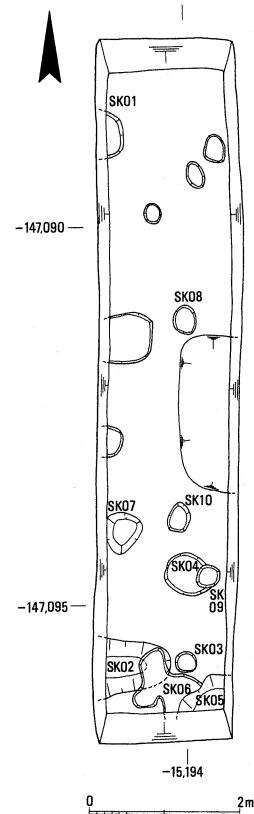
所在地 奈良市芝突抜町3番地
調査期間・面積 平成8年5月10日～5月20日 18m²
調査原因 個人住宅建替（高尾武彦氏届出）

I 調査の目的 調査地は東塔跡の北側に位置する。遺構の遺存状態と時期の特定とともに、東塔院北辺部の区画施設の確認を目的とした。

II 調査地の層相 層序は上から暗黒灰色砂質土、暗黄褐色砂質土、黄褐色砂質土、淡灰褐色砂質土、黄褐色砂質土、暗灰褐色粘質土と続き、現地表下約1.0mで明橙色粘質土の地山となる。地山上面の標高は概ね87.7mである。暗灰褐色粘質土(0.1m)上面には、近世の瓦片や拳大の石が敷かれ整地土と判断できる。また、淡灰褐色砂質土(0.1m)と黄褐色砂質土(0.1m)も固く締まることから、同様に整地土と考えられる。遺構検出は基本的に上層整地土である淡灰褐色砂質土上面と地山上面の2面で行なったが、発掘区北半は削平を受け、整地土が遺存しないため、地山上面でのみ遺構検出を行なった。先述のいずれの整地土からも、13～16世紀後半の土師器・瓦器・瓦質土器類が出土している。

III 検出遺構・遺物 主な遺構には奈良時代と近世の土坑10がある。SK01・02は地山上面で検出した遺構である。SK01から奈良時代の須恵器杯・壺が出土した。SK02から瓦質土器鉢が出土したが、詳細な時期は不明である。SK03～10はいずれも上層整地土上面で検出した遺構である。SK03から16世紀代の土師器皿が出土した。SK04から16世紀代の土師器皿・釜が出土した。SK05から17～19世紀の土師器皿、瓦質土器片、国産陶器碗・壺・甕、中国製染付鉢が出土した。SK06から土師器片、SK07から土師器皿、瓦器椀、SK08から土師器皿、瓦質土器片が出土したが、SK06～08はいずれも詳細な時期はわからなかった。SK09・10は遺物がなく、時期は不明である。今回、奈良時代に遡る土坑(SK01)を検出したが、地山面は約20m西で実施した第8次調査地に比べて、約0.3m削平されている。また、同調査地で検出した19世紀の焼土層が当発掘区で遺存していないことから、さらに削平を受けるものと判断できる。

(宮崎正裕) 第42次調査 遺構平面図 (1/100)



(2) 東面回廊推定地の調査 第43次

所在地 奈良市中新屋町41-2、44-2

調査期間・面積 平成8年9月11日～9月20日 15m²

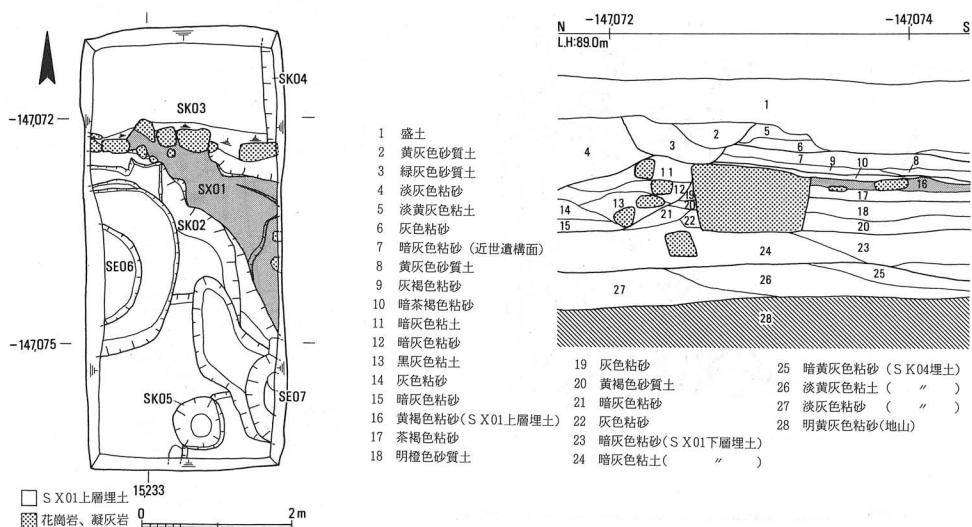
調査原因 個人住宅建替（梶谷弘氏届出）

I 調査の目的 調査地は東面回廊推定地にあたり、東側の南北小路は同回廊の遺存地割である。東面回廊の確認と近世奈良町の様相解明を目的とした。

II 調査地の層相 層相は上から盛土、灰色粘砂、淡黄灰色粘土、灰色粘砂、現地表下約0.5mで近世遺構面である暗灰色粘質土、約0.6mで基壇状の盛土（SX01）と続き、約1.2mで明黄灰色粘砂の地山となる。地山上面の標高は概ね87.5mである。遺構検出は基本的にSX01上面と地山上面の2面で行なった。

III 検出遺構・遺物 主な遺構にはSX01のほか、土坑4、井戸2基がある。SX01の上層埋土中には、花崗岩・凝灰岩の自然石や切石を東西方向に並べる石列がある。排水溝などの護岸、あるいは町屋の隣地境界などが想定できよう。盛土全体の厚さは約0.6mで、埋土から16世紀後半の土師器・瓦質土器片が出土した。SK02・03は重複関係から、SX01より新しいが、詳細な時期は判然としなかった。SK04・05からは16世紀後半の土師器皿、瓦質土器擂鉢などが出土した。重複関係から、SK04はSX01より古い。SE06からは18～19世紀の土師器皿・鍋、国産陶磁器類と近世の瓦片が出土した。SE07は近世遺構面から掘り込まれるが、詳細な時期は不明である。

（宮崎正裕）



第43次調査 遺構平面図（1/100） 東壁土層図（1/50）

(3) 西面回廊推定地の調査 第44次

所在地 奈良市中新屋町8番地

調査期間・面積 平成9年2月4日～2月7日 4 m²

調査原因 個人住宅建替（今來俊雄氏届出）

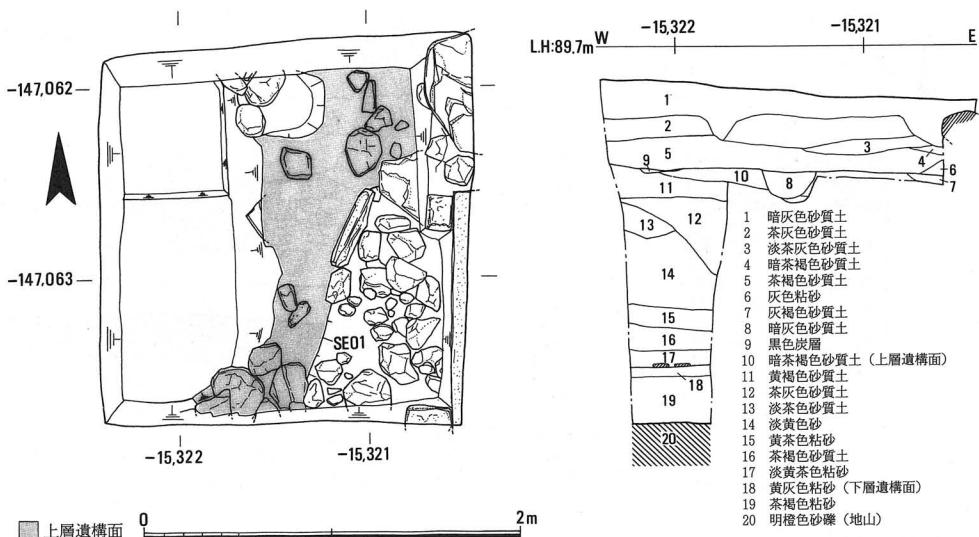
I 調査の目的 調査地は西面回廊推定地にあたり、講堂推定地にも近接する。西面回廊の確認を目的とした。

II 調査地の層相 層序は上から暗灰色砂質土、茶灰色砂質土、茶褐色砂質土と続き、現地表下約0.5mで暗茶褐色砂質土（上層遺構面）、約1.5mで黄灰色粘砂（下層遺構面）、約1.8mで明橙色砂礫の地山となる。地山上面の標高は概ね87.7mである。

III 検出遺構・遺物 上層遺構面には、拳大や人頭大の石が多く混じる。発掘区南東隅に石組井戸（SE01）があるが、掘削しなかった。発掘区西半のみを遺構検出した。下層遺構面まで複雑な堆積が続き、埋土から17世紀末～18世紀前半の土師器皿・炮烙、国産陶器碗・擂鉢などが出土した。下層の黄灰色粘砂から遺物は出土しなかったが、地山上面に堆積する茶褐色粘砂から17世紀末～18世紀の土師器皿、国産陶器類が出土した。

IVまとめ 今年度の調査で、当初の推定伽藍を確認することができなかった。しかし、第42次調査地では奈良時代の遺構が遺存することと、近接する第8次調査地に比べて地山が削平されることが判明した。また、第43次調査地でも16世紀後半以降の大規模な造成が判明したが、調査例の増加に委ねるところが多い。

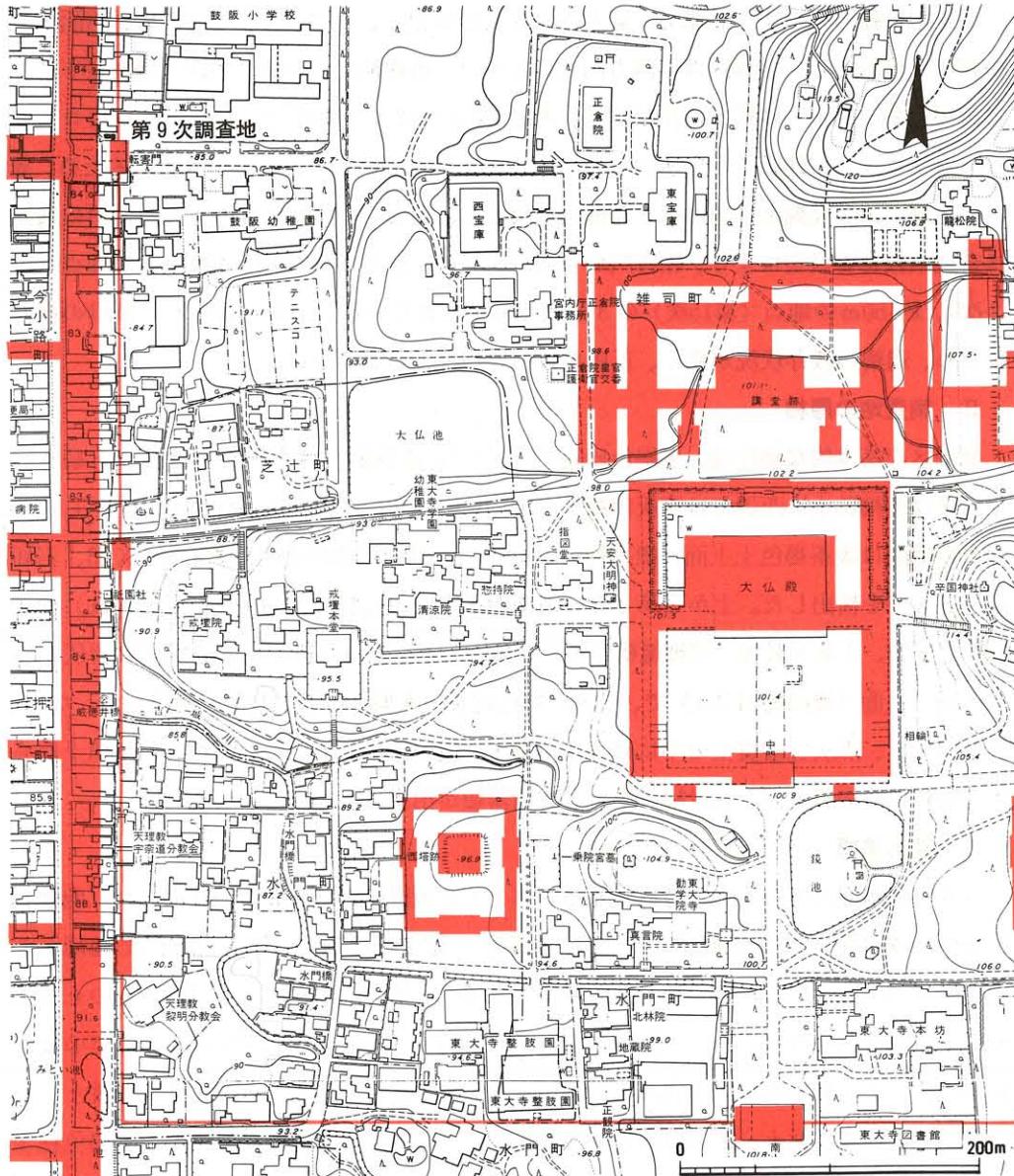
（宮崎正裕）



第44次調査 遺構平面図・北壁土層図 (1 / 40)

3 史跡東大寺旧境内の調査

史跡東大寺旧境内では、本年度第9次調査を実施した。この調査は、転害門北側の西面大垣が推定される地点で実施した現状変更許可申請に伴う調査である。小規模な調査であるが、西面大垣について重要な成果を得ることができた。



史跡東大寺旧境内 発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 西面大垣の調査 第9次

所在地 奈良市雜司町88-1

調査期間・面積 平成8年12月9日～12月24日 22m²

調査原因 転害門街区公園整備工事（奈良市長通知）

I 調査の目的

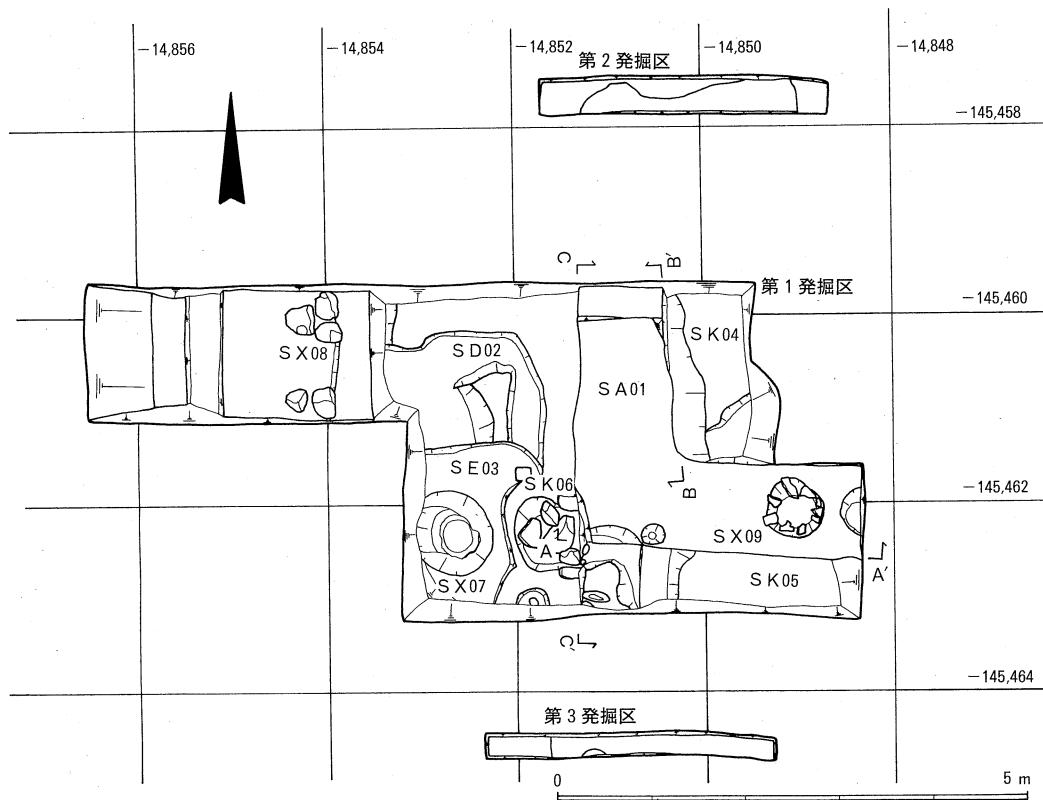
調査地は転害門のすぐ北側で、東大寺西面大垣が想定されていた。このため、西面大垣の確認を目的として発掘区は東西方向に設定した。遺構検出の結果、西面大垣推定ラインで黄褐色系の粘土・砂質土の高まりを、地表下0.2～0.3mで確認した。このためにコンクリートブロック塀建設予定場所にこの高まりが広がっているかどうかを確認するため、新たに北側に第2発掘区、南に第3発掘区を設定し、調査を行った。なお、西面大垣の痕跡は奈良県教育委員会により、転害門から南、約50mの地点（第13次）、約115mの地点（第2次）、約150mの地点（第15次）¹⁾の3箇所で確認されている。²⁾ 3次の調査とも後世の搅乱のため、遺構の残存状況が悪く、正確な大垣の規模はわからない。

II 調査地の層相

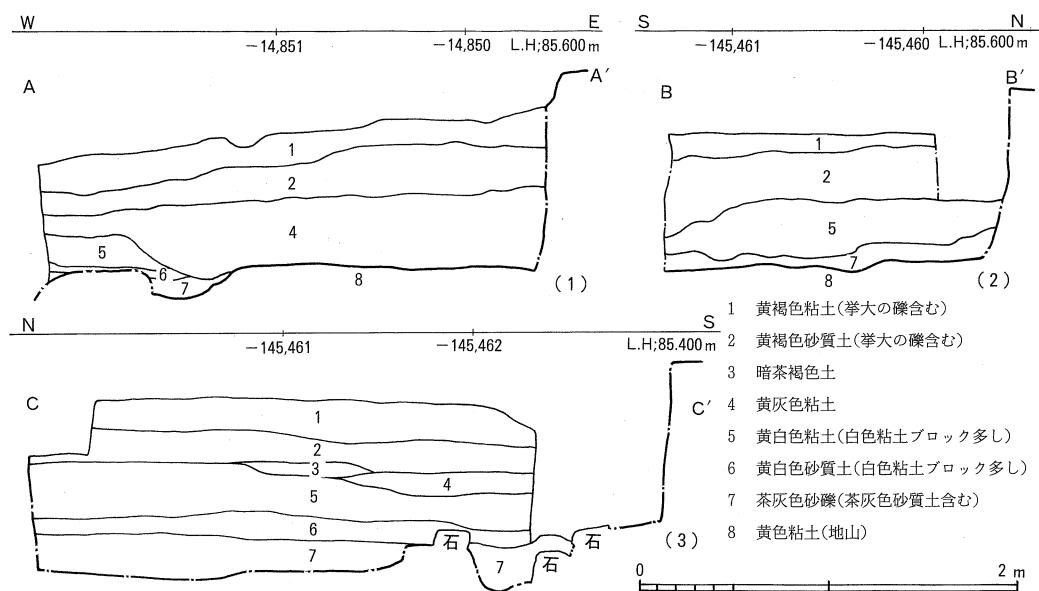
発掘区の基本的な層序は、黒褐色砂質土（表土）、淡茶褐色土、黒灰色砂質土と続き、東辺では黄褐色土、西辺では青灰色粘土の地山にいたる。遺構面は三面ある。上から第1面の遺構面は淡茶褐色土上面（標高約85.1m）で、土坑S K04・05、石組溝S X08、石組遺構S X09を検出した。上から第2面の遺構面は黒灰色砂質土上面（標高約84.4m）で、井戸S E03、土坑S K06、埋甕遺構S X07を検出した。上から第3面の遺構面は青灰色粘土の地山上面（標高約84.2m）で、S A01掘込地業、素掘りの溝S D02を検出した。なお、淡茶褐色土、黒灰色砂質土の中には多量の焼土、炭が包含していた。両層ともに埋土から平安時代以降の軒丸瓦、18世紀の土器・陶磁器類が出土した。

III 検出遺構

S A01は西面大垣の築土と考えられる。第2・3調査区では上面のみ検出した。南北約7.2m分、東西約3.0m分を確認した。第3発掘区で確認した築土が第1発掘区で確認した築土より、西へ広がるため、第1発掘区S A01西辺は後世の削平をうけているものとおもわれる。土坑S K04・05により掘り込まれている箇所（1・2）と西壁面（3）での断面観察によると、基本的な築土状況は、下から茶灰色砂礫（掘込地業）、黄白色砂質土、黄白色粘土、黄灰色粘土、黄褐色砂質土、黄褐色粘土である。掘込地業上面から黄褐色粘土上面までの高さは約0.7mである。これらの築土は厚く、厚みも均質なものではないため、いわゆる版築により構築されたものとは考え難い。掘込地業はS A01西半部でのみ行って



第9次調査 遺構平面図 (1/80)



西面大垣 S A01土層図 (1/40)

おり、東半部では行ってなかった。これは、西半部の地山が軟質の青灰色粘土で、東半部の地山が硬質の黄褐色土であったため、地盤が軟弱な西半部のみ掘込地業を行ったものと

考えられる。また、SK05が掘り込んでいる南面の築土状況（1）を観察すると、黄灰色粘土が茶灰色砂礫、黄白色粘土、黄白色砂質土を掘り込んで盛られていることが判明した。また西壁面（3）とSK04が掘り込んでいる東面の築土状況（2）から、黄灰色粘土はSA01南半部にのみ盛られていることが判明した。このことから、SA01は後の時代に一度、改修をうけたものとおもわれる。SA01の築土を保存するために、断ち割り調査を行わなかったため、SA01の造営時期、改修時期は不明である。SD02はL字形に曲折する素掘りの溝である。幅0.4～0.6m、検出面からの深さ約0.2mで、南北約1.0m分、東西約1.5m分検出した。埋土は青灰色砂で、溝内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SE03は平面方形の井戸である。掘形は南北約1.7m以上、東西約1.2m以上である。検出面からの深さ約0.9mである。枠の大半は抜きとられていたが、北東隅柱と北側最下段の横桟のみが残存していた。重複関係からSK06、SX07より古いことがわかる。SK04は調査区北東で検出した土坑である。南北約2.0m分、東西約1.0m分を検出した。検出面からの深さは約0.7mである。埋土は淡茶褐色土で、坑内から平安時代以降の軒丸瓦、18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SK05は調査区南東で検出した土坑である。南北約0.6m分、東西約1.8m分を検出した。検出面からの深さは約0.9mである。埋土は淡茶褐色土で、坑内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SK06は平面隅丸方形の土坑である。南北約0.8m、東西約0.7mで、検出面からの深さは約0.25mである。埋土は灰褐色土で、坑内から18世紀の土器・陶磁器類が出土した。SX07は平面円形の掘形の中に、甕を据えた遺構である。掘形の直径は約0.9mで、検出面からの深さは約0.4mである。据えられていた甕は、17世紀から18世紀にかけての備前焼の甕である。SX08は、幅約0.3mの溝の両岸に、河原石を据えた南北方向の石組溝である。検出面からの深さは約0.3mである。SX09は、平面円形の掘形の壁に偏平な石を据えた石組遺構である。掘形の直径は約0.6m、検出面からの深さは約0.1mである。石は長さ10～30cm程度、厚さ約3cmのものを用いている。埋甕の据え付け穴とも考えられる。

III まとめ

今回の調査では、西側部分のみであるが、西面大垣と考えられる高まりを確認した。しかし東西幅が約3.0m以上と、幅が広いものであった。東大寺南面大垣築地基底部幅は約2.2mと知られている¹⁾ので、今回検出したSA01の幅は築地本体の幅とするには広すぎるという疑問が残る。また、土層観察からは、SA01はいわゆる版築をされたものとは考え難いものであった。これらのことからSA01は東大寺西面大垣の土壇部分で、この上にのる築地本体はすでに削平をうけた可能性が高いと思われる。 (原田憲二郎)

註1) 奈良県立橿原考古学研究所「奈良市史跡東大寺旧境内1990年度発掘調査概報第13次（西面築地今小路町29）調査」『奈良県遺跡調査概報（第一分冊）1990年度』1991
註2) 奈良県立橿原考古学研究所「東大寺西面大垣跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報1976年度』1977
註3) 奈良県立橿原考古学研究所「奈良市史跡東大寺旧境内1990年度発掘調査概報第15次（西面築地）調査」『奈良県遺跡調査概報（第一分冊）1990年度』1991
註4) 奈良国立文化財研究所「IV考察C築地の問題」『平城宮発掘調査報告Ⅲ』1963

III その他の調査

1 鹿野園石器散布地の調査 第1次

所在地 奈良市白毫寺町地内
調査期間・面積 平成8年6月4日～7月10日 78m²
調査原因 市道北部202号線建設（奈良市長通知）

I 調査の目的

鹿野園町や白毫寺町周辺は縄文時代の石器の散布地であり、特に鹿野園温泉の付近および高円山山麓の田畠で多くの石器が発見されている。大部分が前期から晩期の石鏃で、他にスクレイパー、石核等がある。石材は大半が安山岩だが、緑色のチャートが若干ある。縄文土器は未発見である。本調査は、遺跡の範囲・性格の確認を目的とした。調査地は、白毫寺の南方にある古池より、主要地方道奈良名張線までの山斜面に位置する。道路側東南斜面は緩斜面で、段々畑が造成されているのに対し、南斜面は急斜面の山林になっている。発掘区は東南斜面に4箇所、南斜面に1箇所、尾根上に1箇所設けた。



遺跡位置図 (1/20,000)

II 調査の成果

第1発掘区 (20m²) 畑地造成されているが、丘陵先端の裾部に位置し、平坦な地形であることから人間が活動しやすい場所と考えた。層相は表土、淡褐色～淡褐黄色の砂質シルト層群（以下a層群）、炭化物や焼土ブロック・灰を含有する浅褐灰色～褐灰色の砂質シルト層群（以下b層群）と続き、地表面下約1.2mで暗褐灰色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は概ね142.3mである。a層群は地山ブロックを含み、畑地造成や作土と考えられる。12～15世紀の土器が出土しており、畑地造成や畑地耕作は15世紀以降と考えられる。またb層群の内、数層の上面に焚火跡とみられる薄い焼土や灰を多数検出した。最下層から瓦質土器が出土しており、焼土や灰は少なくとも14世紀以降のものと言える。

第2発掘区 (10m²) 尾根上の先端部分であり、道上に位置する。地表面の傾斜角約5度と、人間の活動しやすい地形と考えた。層相は表土、暗黄灰色砂質シルト、明褐灰色砂質シルトと続き、表土下約0.3～1.1mで暗黄白色礫の地山となる。地山は傾斜角約20～30°



第1次調査 発掘区位置図 (1/2,000)

の急斜面で人間の生活に適さない。地山上面の標高は概ね155.0～156.7m。地山上面で安山岩を用いた石垣を検出した。周囲の段々畑崖面に同様の石垣があることから、廃棄された畑の石垣と考えられる。遺物はなく時期不明。

第3発掘区 (10m²) 畑地造成されているが、緩斜面に位置し、遺跡の存在の可能性が高いと考えた。表土下には約0.8mにわたって畑地造成あるいは作土と考えられる明褐灰色～赤褐灰色シルト（地山ブロック含有）層群が続き、地表面下約1.0mで浅赤褐色シルトの地山に至る。遺構・遺物はなかった。地山上面の標高は概ね142.2mである。

第4発掘区 (18m²) 南西急斜面の深い谷に位置する。東側に人間活動に適した尾根上平坦部があるため、遺物が土砂とともに堆積している可能性が高いと考えた。層相は表土、浅褐灰色砂質シルトと続き、表土下約0.3～0.8mで青白色シルトの地山に至る。地山上面の標高は概ね158.2～159.5m。約25°の傾斜がある。また、浅褐灰色砂質シルト層から奈良時代の須恵器の破片が出土した。北側に奈良時代の遺跡の存在が予想できる。

第5発掘区 (10m²) 緩斜面に位置し、畑地造成されている。層相は表土直下で灰白色砂質シルトの地山となり、地山上面の標高は概ね147.9～148.9m。約10°の傾斜がある。遺構・遺物は共になかった。

第6発掘区 (10m²) 緩斜面に位置し、畑地造成されている。層相は表土、暗褐灰色砂質シルト（地山ブロック含有）と続き、表土下約0.7mで明褐赤色シルトになる。地山上面の標高は概ね140.6～141.1m。約10°の傾斜がある。遺構・遺物は共になかった。

III まとめ

今回の発掘調査では、目的とした縄文時代の遺跡を確認できなかったが、第1発掘区や第4発掘区の成果により、この地に奈良時代や中世の遺跡が存在する可能性がてきた。ただ調査範囲が狭く、地形的にも急な斜面地や畑造成地など遺跡の残存状況が良いとは言えない。調査地北側にある尾根上平坦地での調査が望まれる。

(大窪淳司)

2 東紀寺遺跡の調査 第4次

所在地 奈良市紀寺町581-5

調査期間・面積 平成8年11月5日～11月15日 60m²

調査原因 梅園地区住環境整備事業（奈良市長通知）

I 調査の目的

東紀寺遺跡では、平成7年度までに奈良市教育委員会で3度、奈良国立文化財研究所240次調査として発掘調査を実施している。その結果、古墳時代中期の円・方墳を検出した。第1次調査では鎌倉時代の土坑、江戸時代の井戸、土坑を検出している。また第2次調査では鎌倉時代の土坑と江戸時代の建物を検出している。今回の調査地は平成7年度の第3次調査の南西に位置する。今回の調査もこれまでと同様に遺跡の範囲確認を目的として東西10m、南北6mの発掘区を設定した。

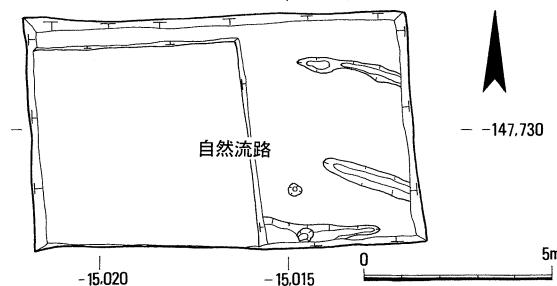
II 調査地の層相

調査地は春日山西麓の能登川扇状地の微高地上にある。発掘区内の層序は盛土（厚さ0.1m）以下、黒色土（作土、厚さ0.15m）、暗灰褐色砂質土（厚さ0.1m）、淡灰色砂礫（厚さ0.15m）、灰茶色砂礫（厚さ0.35m）、茶灰色細砂（厚さ0.15m）と続き、現地表下約1.0mで暗褐色砂の地山に至る。地山上面の標高は概ね88.8mである。

III 検出遺構・遺物

地山上面で斜行する素掘りの溝を3条検出した。幅約0.4m、深さは0.05～0.1mである。出土遺物はないが、14世紀以前の耕作に伴う溝であろう。淡灰色砂礫層上面で中世以降と思われる東西方向の自然流路を検出した。北肩および南肩が調査区外にあるため幅員は不明であるが、深さ0.7mである。灰茶色砂礫層の上面でも再度遺構検出を行ったが、遺構は検出できなかった。自然流路の堆積層である淡灰色砂礫から14世紀の土師器片、瓦器片が出土した。本調査で検出した自然流路は位置関係からみて第3次調査検出の自然流路の続きである可能性がある。

（山前智敬）

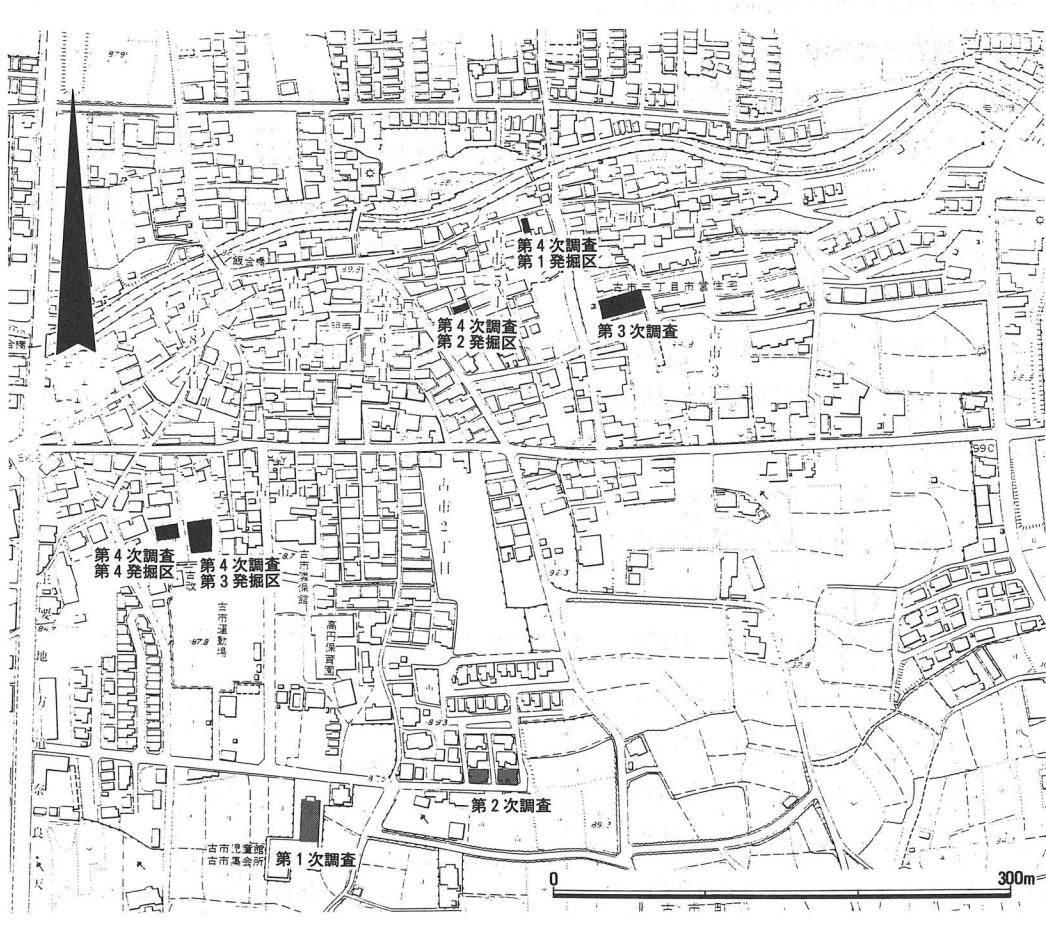


第4次調査 遺構平面図（1/200）

3 古市遺跡の調査

古市町の西部地域に存在する遺跡は、従来は狐塚古墳、大塚古墳といった古墳と、古墳時代から奈良時代にかけての遺物散布地が知られていただけで、詳細は不明であった。

このうち遺物散布地については、散布地の北辺付近で昭和57年度と平成7年度に奈良市教育委員会が発掘調査を実施した（第1・2次調査）。そのうち、平成7年度の第2次調査では、古墳時代中・後期の竪穴住居、掘立柱建物などを検出した。なお、同年度には北は岩井川南岸、南は地蔵院川北岸、東は県道高畠山町線、西はJR桜井線までの範囲で踏査を実施し、全域で弥生時代から近世にかけての遺物が散布していることを確認した。本年度は、第2次調査の北から岩井川南岸までの地域で遺構の分布を確認するために第3・4次調査を実施し、古墳、奈良・平安、安土桃山時代の遺構を検出した。したがって、第2～4次調査地付近には古墳～安土桃山時代の複合遺跡が存在するものと判断される。



発掘調査位置図 (1/5,000)

(1) 第3次調査

所在地 奈良市古市町1560-1他

調査期間・面積 平成8年6月11日～7月17日 300m²

調査原因 古市第10号市営住宅建替（奈良市長通知）

I 調査の目的

調査地は高円山の西麓の岩井川によって形成された扇状地の微高地上にあたり、調査地の北側には岩井川が流れている。今回の調査は、岩井川南岸にまで遺跡が広がっているかどうかを確認することとした。

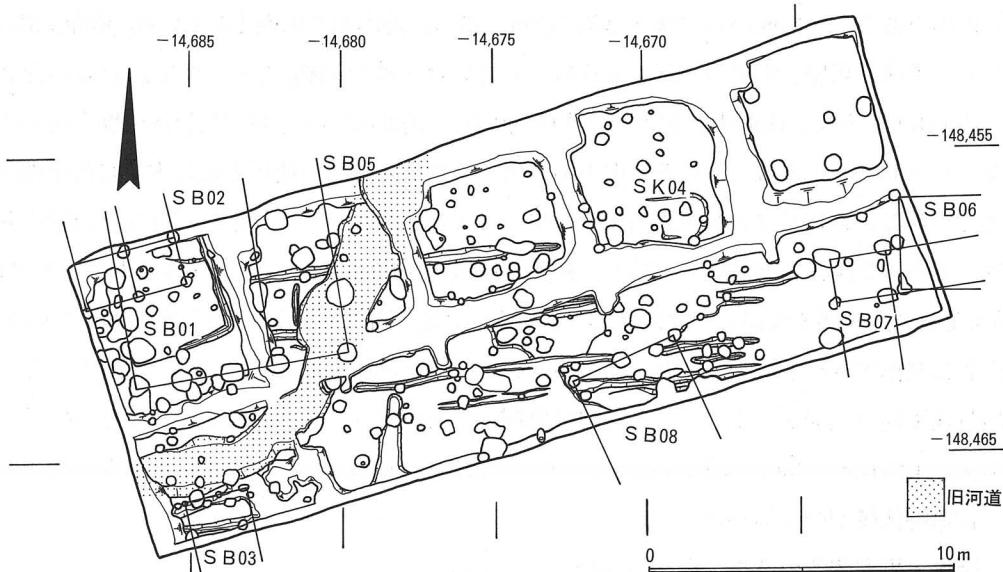
II 調査地の層相

層序は、旧市営住宅建設に伴う造成盛土、黒灰色土（旧作土）、灰色砂質土（床土）、黄灰色粘土と続き、現地表下約0.5mで黄褐色砂礫または茶褐色土の地山となる。地山上面の標高は94.3mから94.1mで東から西へとゆるやかに下る。発掘区西半では、黄灰色粘土と地山の間に茶灰色砂質土の整地土が広がっていた。整地土からは弥生時代後期の土器、古墳時代中期から後期にかけての須恵器、土師器、奈良時代の須恵器が出土した。このことから、奈良時代に付近が整地されたものと考えられる。

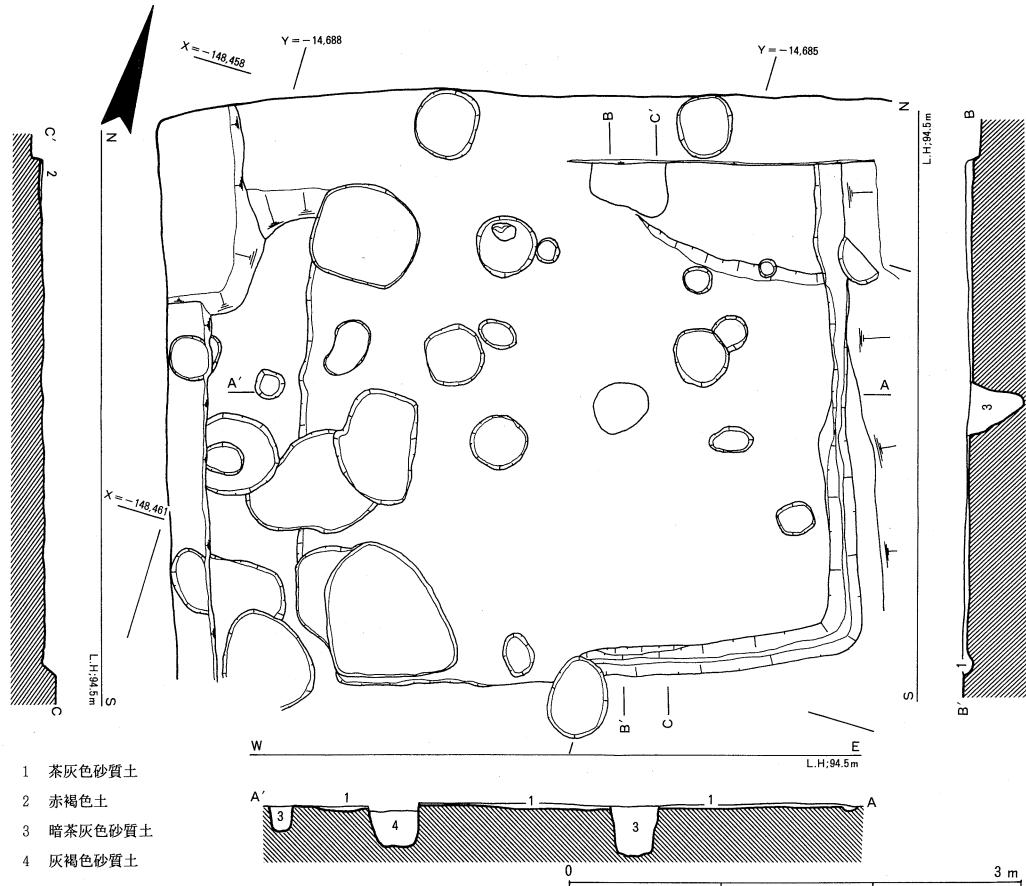
III 検出遺構

主な検出遺構は、重複関係、出土遺物などから古墳時代と奈良・平安時代の大きく2時期にわけることができる。以下、時期ごとに主な検出遺構について述べる。

古墳時代の遺構 積穴住居1棟、掘立柱建物2棟、土坑がある。土坑以外はすべて奈良



第3次調査 遺構平面図 (1/250)



堅穴住居SB01 平面・断面図 (1/50)

時代の整地層の下で検出した。

SB01は発掘区北西隅で検出した平面方形の堅穴住居である。東西長3.5m、南北長3.5m以内である。検出面からの深さは約0.03mである。地山面を床面としている。壁面に沿ってめぐる溝は東壁、南壁の一部でのみ残存していた。溝は幅約0.2m、検出面からの深さは約0.08mである。床面中央北寄りに東西約0.6m、南北0.3m分、深さ0.05mの焼土坑がある。カマドであると考えられる。埋土中の出土遺物から住居の使用下限は古墳時代中期と考えられる。SB02は発掘区北西隅で検出した東西2間(3.4m)、南北2間以上の総柱建物である。北側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.7m等間、南北1.6mである。SB03は発掘区南西隅で検出した東西2間(2.0m)、南北2間以上の南北東掘立柱建物である。南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.0m等間、南北1.0mである。柱穴埋土から古墳時代後期の土器が出土した。SK04は発掘区中央東寄りで検出した平面長円形の土坑である。東西長約2.0m、南北長約1.4mである。検出面からの深さは約0.1mである。埋土から古墳時代後期の土器が出土した。

奈良・平安時代の遺構 掘立柱建物4棟がある。

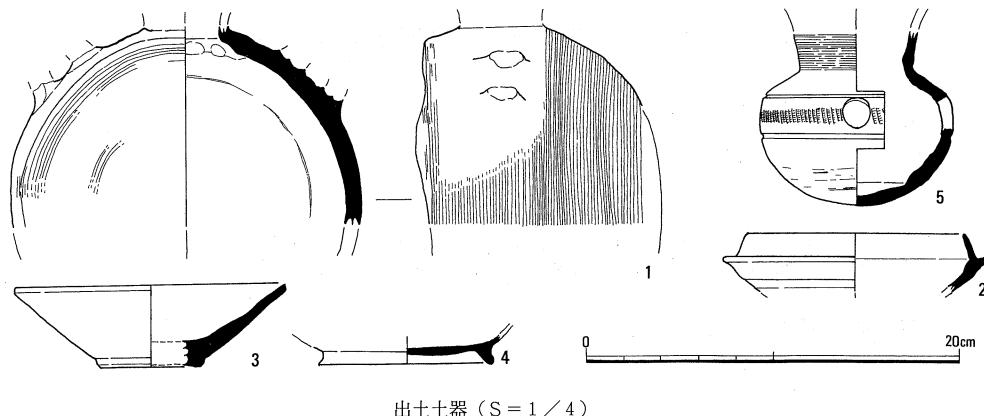
S B 05は発掘区北西隅で検出した東西3間(4.5m)、南北3間(3.6m)以上の南北棟掘立柱建物で東側に廂がつく。北側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.5m等間、南北1.8m等間で、廂の出は2.4mである。奈良時代の整地層上面で検出した。S B 06は発掘区南東隅で検出した東西2間(3.0m)以上、南北2間(3.0m)の東西棟掘立柱建物である。東側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.5m、南北1.5等間である。S B 07は発掘区南東隅で検出した東西2間以上、南北2間以上の総柱建物である。東、南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.8m、南北1.5mである。S B 08は発掘区中央南寄りで検出した東西2間(3.6m)、南北2間以上の南北棟掘立柱建物である。南側は発掘区外へと続く。柱間寸法は東西1.8m等間、南北2.1mである。柱掘形埋土から、平安時代前期の黒色土器、越州窯系青磁碗が出土した。

III 出土遺物

出土遺物には、弥生時代から平安時代にかけての土器類がある。ここでは主なものについて記す。1・2は奈良時代の整地土から出土した古墳時代後期の須恵器である。1は提瓶で、肩部に把手が付く。体部全体にカキメ調整が施されている。2は杯身である。3・4は建物S B 08の柱穴から出土した平安時代後期の土器で、3は越州窯系青磁碗、4は黒色土器A類杯である。

5は調査地近くで採取した古墳時代後期の須恵器躰である。

(安井宣也)



出土土器(S=1/4)

IVまとめ

今回の調査地でも古墳時代の遺構を検出し、本遺跡の範囲は岩井川南岸まで広がっていることが明らかになった。したがって、古墳時代の集落遺跡は、古市町北部一帯の微高地上に広がっているものと考えられる。さらに今回の調査区では奈良・平安時代の遺構も検出した。本遺跡が古墳時代だけでなく、奈良・平安時代の遺跡も含めた複合遺跡であることが判明した。また奈良時代の整地土内から弥生時代後期の土器が出土したことにより、本調査地周辺に弥生時代の遺跡の存在も考えられる。

(原田憲二郎)

(2) 第4次調査

所在地 奈良市古市町1231-1、1506、1513他
調査期間・面積 平成8年8月5日～10月7日 466m²
調査原因 古市小集落地区改良事業（奈良市長通知）

I 調査の目的

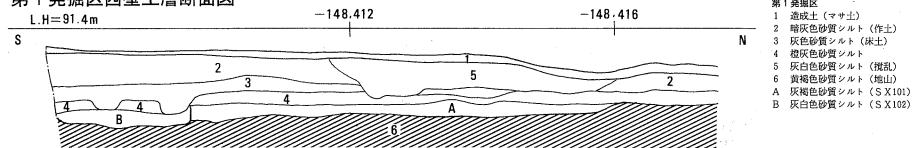
調査地は、第3次調査と同じ扇状地の微高地上に位置する。第3次調査の古墳時代遺構群の確認を受け、岩井川南岸における古市遺跡の北限、西限の確認を目的とした。このため発掘区を4つ設けた。以下、発掘区別に概要を記載する。

II 調査の概要

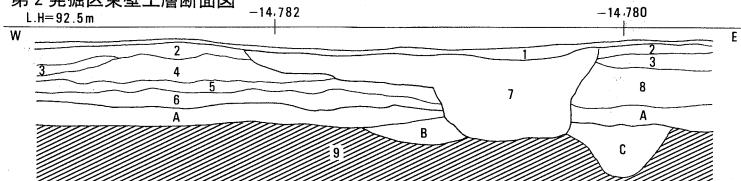
第1発掘区

岩井川の近隣、微高地の北端に位置する。層序は、造成土、暗灰色砂質シルト、灰色砂質シルト、灰色砂質シルト、橙灰色砂質シルトと続き、現地表下約0.3mで黄褐色砂質シ

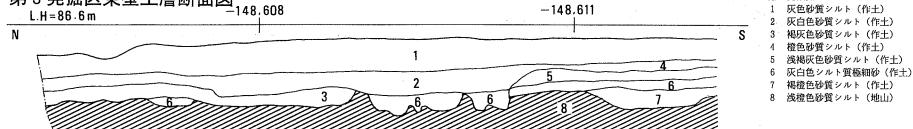
第1発掘区西壁土層断面図



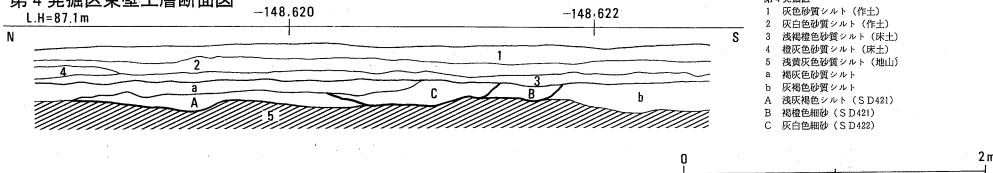
第2発掘区東壁土層断面図



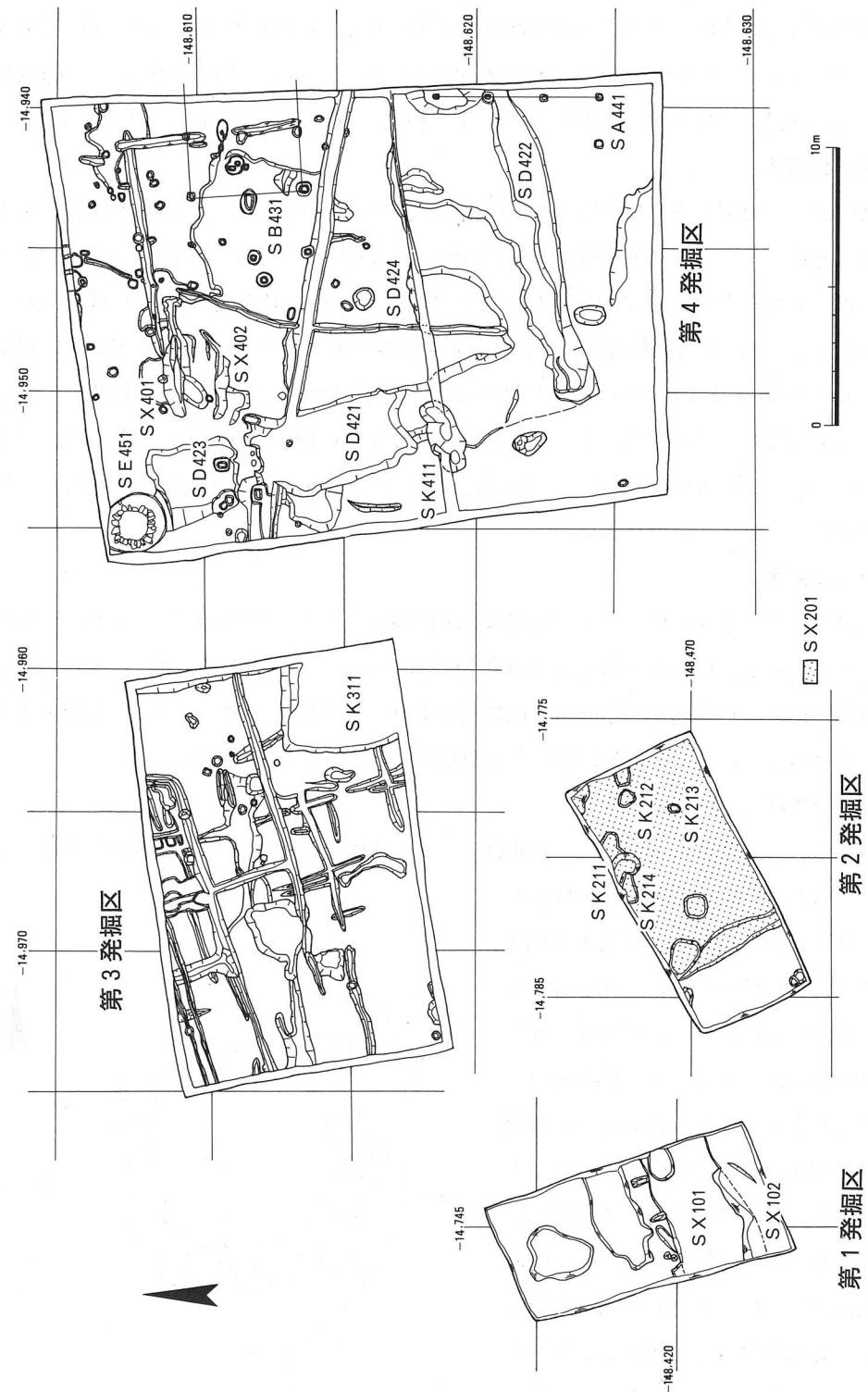
第3発掘区東壁土層断面図



第4発掘区東壁土層断面図



第4次調査 第1～4発掘区土層断面図 (1/50)



第4次調査 第1～4発掘区遺構平面図 (1/250)

ルト（小礫を多数含有）の地山となる。遺構面は地山上面であり、標高は概ね90.9m。地山は堆積状況から旧岩井川による河川堆積と考えられる。検出した遺構には、不明遺構SX101・102があり、SX101から古墳時代後期の土器が出土した。重複関係からSX102はSX101より新しいが、明確な時期は不明。また攪乱土坑から近世の平瓦が2点出土した。

第2発掘区

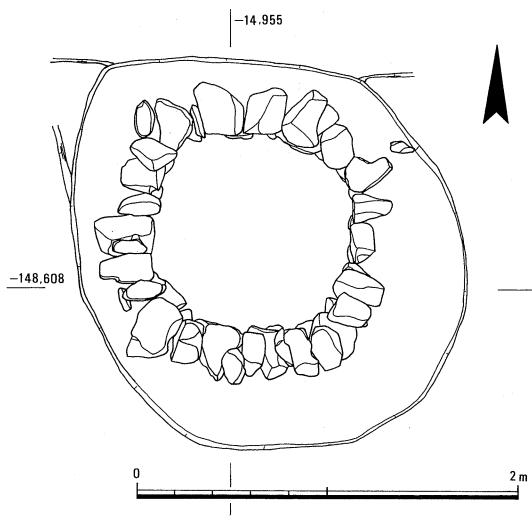
微高地の中央部西寄りに位置する。層相は、淡黄白色砂質シルト、橙白色砂質シルト、灰白色砂質シルト、褐橙色砂質シルト、暗橙灰色砂質シルト、暗茶褐色粘土（SX201）と続き、現地表下約0.6mで褐色粘質砂礫土の地山となる。遺構面は地山上面であり、標高は概ね91.5m。検出した遺構には、整地の可能性があるSX201、土坑SK211～214がある。SX201およびSK211・213・214からは古墳時代中期後半から後期の土器、SK212からは古墳時代の土器が出土した。重複関係からSX201はK211～214より新しい。なおSX201の埋土には炭化物が混じる。またSK214は埋土全体に焼土と炭化物が混在し、焼土を廃棄した土坑の可能性がある。

第3発掘区

微高地のほぼ西端に位置する。層相は、灰色砂質シルト、灰白色砂質シルト、褐灰色砂質シルトと続き、現地表下約0.4mで浅橙色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は、概ね86.1m。第4発掘区と約0.5mの比高差があり、本発掘区は水田耕作による削平を受けていると考えられる。15世紀以降の土器が出土した土坑SK311を検出した。

第4発掘区

層相は、灰色砂質シルト、灰白色砂質シルト、浅褐橙色砂質シルト、褐灰色砂質シルト（以下a層）あるいは灰褐色砂質シルト（以下b層）と続き、現地表下約0.4mで浅黄灰色砂質シルトの地山となる。地山上面の標高は、概ね86.6m。遺構面は地山およびa・b層上面の三面にあたるが、a・b層上面での遺構検出が困難なため、検出は全て地山上面で行なった。検出遺構には、溝5条、土坑1基、掘立柱建物1棟、掘立柱塀1条、井戸1基、不明遺構2基がある。いずれも遺物が少なく明確に時期を決定できるものはない。以下、主な検出遺構について述べる。



井戸S E451 平面図 (1/40)

S D 421・422は北西から南東方向の素掘りの溝で、南端で東方向へほぼ直角に曲がる。国土方眼方位北に対する溝の振れは共に西へ17°であり、S D 422はS D 421の改修の可能性がある。また埋土が異なるが、溝心の位置・方向、底面の標高からS X 423はS D 421・422と一連のものである可能性が高い。なお堆積構造からS X 402では水が流れていた可能性が高い。土層観察からS D 421・422は、a層より古く、b層より新しい。また素掘りの溝S D 424はS D 421と同じ埋土であり、同時期の可能性が高い。S K 411は南北約1.0m、東西約2.5m、深さ約0.6mの土坑であり、重複関係からS D 421・422より古い。

S B 431は南北2間、東西2間以上の掘立柱建物である。柱間寸法は南北、東西共に2.1m等間である。柱穴埋土から14世紀以降の土器が出土した。またS A 441は南北3間(6m)の掘立柱塀であり、柱間は2.0m等間である。重複関係からS D 421・422より新しい。

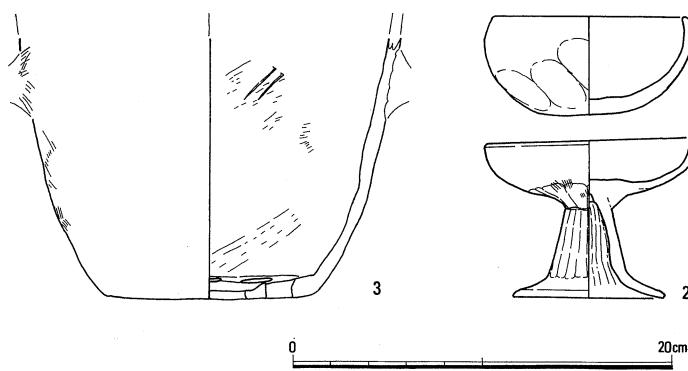
S E 451は石組みの井戸で、重複関係からa層やS D 423より新しい。ただし崩落の危険性が高く、完掘していない。埋土から安土桃山時代の瓦質土器と板状木製品が出土した。

S X 401・402は素掘りの溝である。相対する内側の壁をほぼ垂直に掘削されているため、断面は逆三角形や台形になる。ただし深さはS X 401の約0.5mに対し、S X 402は約0.1mと浅い。幅員はS X 401が約0.6m、S X 402が約0.4m、長さは双方とも約6.0mである。付近の地山上面から縄文時代の石鎌が出土した。
(大塙淳司)

III 出土遺物

古墳時代と中世の土器類が遺物整理箱6箱分、近世の平瓦が2点、安土桃山時代以降の板状木製品が1点、縄文時代の石鎌が1点ある。この内、古墳時代の土器について記す。

古墳時代の土器には、中期後半から後期にかけての土師器杯・高杯・甌、須恵器蓋杯がある。1は土坑S K 211から出土した土師器甌である。体部中央には1対の把手がある。底部には中心部に1箇所、その回りを取り巻いて8箇所の穿孔が施されている。2は土坑S K 212から出土した土師器杯で、口縁端部は内傾する。3はS X 201から出土した土師器高杯で、椀状の杯部をもつ。
(安井宣也)



出土土器(1/4)

4 七ツ塚古墳群の調査 第1次

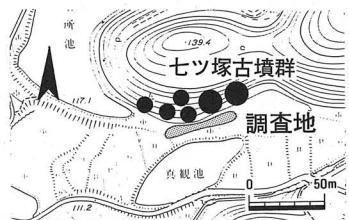
所在地 奈良市山町1020、1020-2、1271、1272

調査期間・面積 平成9年2月3日～3月27日 39m²

調査原因 市道南部478号線建設（奈良市長通知）

I 調査の目的

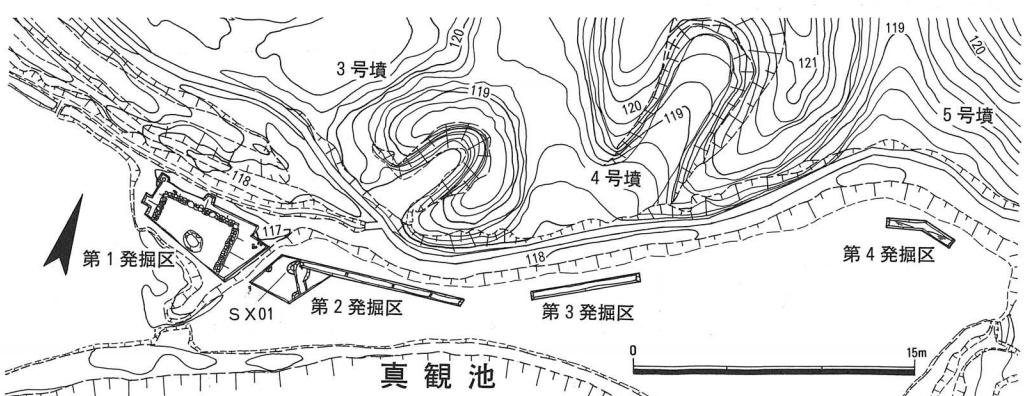
調査地は、七ツ塚古墳群第3～5号墳のすぐ南側で、現状は水田である。本調査では古墳に伴う墓道の検出を目的とした。このため発掘調査に先立って地形・墳丘測量を行い、古墳の石室開口部の延長線上と旧地形が残存していると考えられる部分に発掘区を設けた。



II 調査の概要

第1発掘区(24m²)は水田間の高まりに設定した。層相は表土直下で淡黄灰色砂質シルトの地山（標高116.8m）となる。地山上面でコの字形の石組を検出した。出土遺物はない。土地所有者の証言から明治以降に構築された納屋の礎石であると考えられる。第2発掘区(10m²)は3号墳の石室開口部の延長線上に設定した。層相は作土直下で灰白色細砂の地山（標高116.3m）になる。地山上面で土坑SX01を検出した。平面橢円形の土坑で、東西1.2m、南北1.0m以上、深さ0.1mである。埋土から6世紀後半の須恵器の杯蓋が出土した。位置関係から墓道の可能性がある。第3・4発掘区(3m²・2m²)はそれぞれ4・5号墳の石室開口部の延長線上に設定した。層相は共に作土直下で黄白色シルトの地山（標高116.3m前後）になる。検出遺構および出土遺物はなかった。

（大窪淳司）



第1次調査 発掘区位置図 (1/400)

IV 小規模確認調査・試掘調査・工事立会

1 小規模確認調査・試掘調査

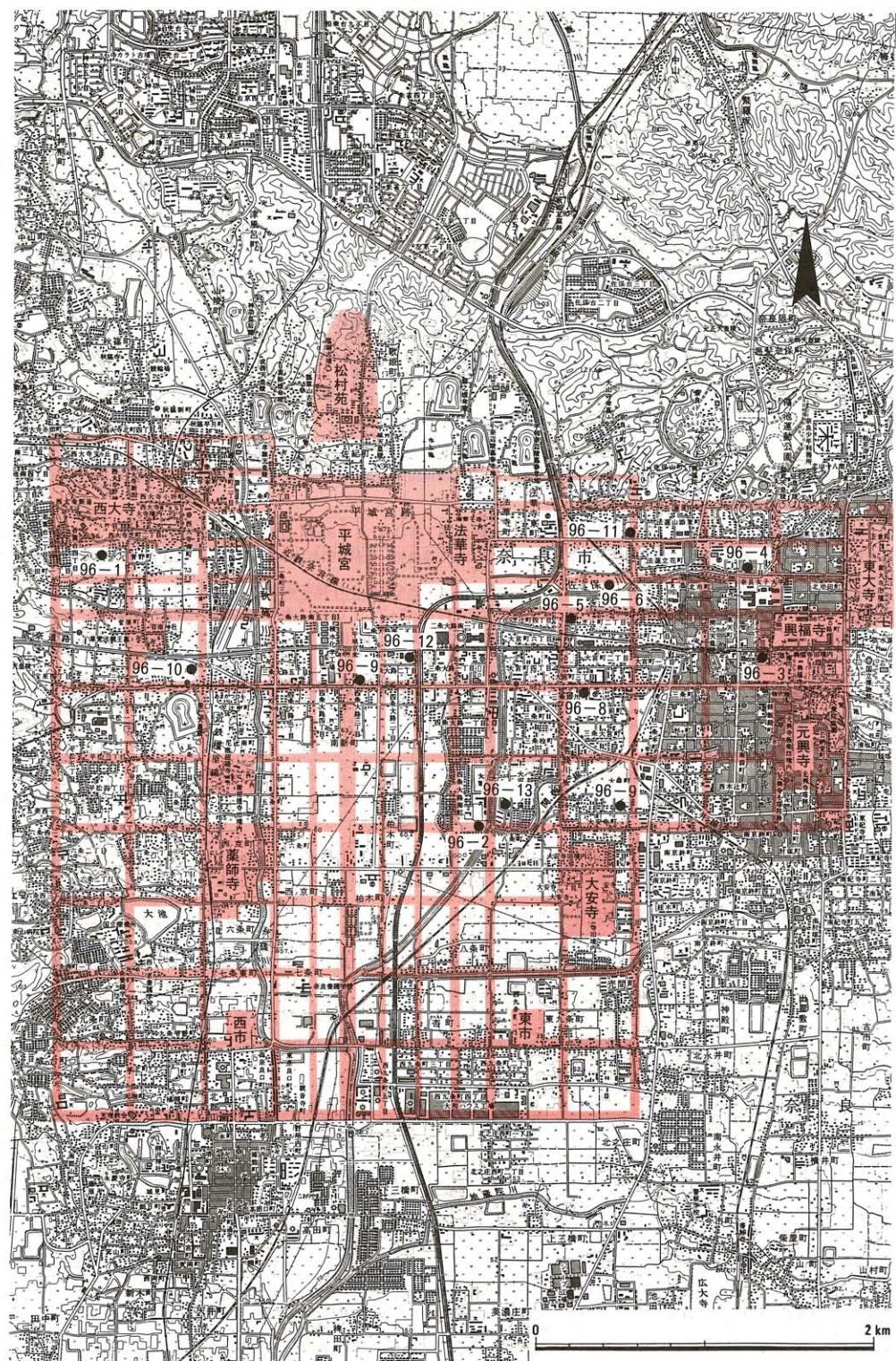
平成8年度は、今まで記述してきた発掘調査以外に、奈良県教育委員会の指導のもと、13件の小規模な確認調査と試掘調査を実施した。その結果、良好な遺構が発見された場合には、本調査の実施を届出者と協議した。

なお、調査記録と出土遺物は、奈良市埋蔵文化財調査センターで保管している。

96-1次 (H8.6.17)	平城京右京二条四坊九・十坪	青野町281-1他	12m ²	後藤興産・小松 豊/分譲住宅造成	H6・3064
【調査結果】現状：水田・山林等 遺構検出面：灰白色粘質砂（地山、奈良時代遺構面）上面一標高80.2~81.0m 検出遺構：なし 【備考】工事先行。段丘上面の土で段丘斜面と谷を盛土造成するもので、盛土造成部では工事が遺構面に及ぼす影響は小さい。					
96-2次 (H8.7.10)	平城京左京五条二坊十三坪	大安寺西一丁目330-7他	8m ²	松本信昭/資材置場・宅地造成	H8・3078
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：淡黄灰色粘土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高56.0m（現GL-1.1m） 検出遺構：柱穴、土坑（主に奈良時代） 【備考】盛土造成及び擁壁工事で、擁壁工事の掘削は遺構面に及ぼない。					
96-3次 (H8.7.18)	興福寺旧境内	西御門町3-1、4-1	25m ²	服部商事/事務所ビル改築	H7・3267
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄褐色砂礫（地山、奈良時代遺構面）上面一標高82.2m（現GL-1.9m） 検出遺構：柱穴（時期不明） 【備考】地山表面の遺構密度が低いので、工事着手。					
96-4次 (H8.7.30)	平城京左京二条六坊十坪	法連町南二丁目1144-1	30m ²	五十鈴建設/共同住宅新築	H8・3063
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：淡青灰色砂礫（地山、奈良時代遺構面）上面一標高75.1m（現GL-1.8m） 検出遺構：土坑、旧河道（時期不明） 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性があり、協議の上発掘調査を実施。（平城京第359次調査）					
96-5次 (H8.8.26)	平城京左京三条四坊一坪	芝辻二丁目10-2・3	18m ²	西田 嗣/事務所付共同住宅新築	H8・3086
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄灰色粘土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高63.9m（現GL-1.7m）、直上に奈良時代遺物包含層 検出遺構：溝、旧河道 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性があり、協議の上発掘調査を実施。（平城京第357次調査）					
96-6次 (H8.9.18)	平城京左京二条四坊十四坪	法連町234-1	12m ²	生駒今恵/店舗付共同住宅新築	H8・3123
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：灰色砂礫（旧河道）上面一標高66.4m（現GL-1.3m） 検出遺構：旧河道（鎌倉時代土器片含む） 【備考】事業地全体が旧河道であり、工事着手。					
96-7次 (H8.10.15)	平城京左京五条四坊十四坪	大安寺六丁目771-1	16m ²	熊木大典/共同住宅新築	H8・3181
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄灰色粘土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高64.4m（現GL-0.8m） 検出遺構：土坑、溝（時期不明） 【備考】工事に伴う掘削は遺構面に及ぼない。					
96-8次 (H8.12.10)	平城京左京四条四坊一坪	三条添川町63-3・5	11m ²	藤ソニーファイナンシングインターナショナル/事務所新築	H8・3219
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：青灰色シルト（地山、奈良時代遺構面）上面一標高63.0m（現GL-1.1m） 検出遺構：溝（時期不明） 【備考】地下遺構に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事着手。					
96-9次 (H8.12.11)	平城京左京三条一坊四坪	三条大路三丁目458-4他	6m ²	米澤之郎/店舗新築	H8・3202
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：黄色粘質土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高62.6m（現GL-0.5m） 検出遺構：素掘り溝（時期不明） 【備考】地下遺構に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事着手。					
96-10次 (H9.2.25)	平城京右京三条三坊三・四坪	宝来一丁目57-1	20m ²	吹角一夫/共同住宅新築	H8・3110
【調査結果】現状：畑地 遺構検出面：黄橙色粘土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高70.7m（現GL-2.5m）、地山直上で奈良時代の遺物包含層を確認 検出遺構：なし 【備考】地下遺構に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事予定。					
96-11次 (H9.3.04)	平城京左京一条三坊十五坪	法連町704-1他	12m ²	井田 亨/店舗新築	H8・3263
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：黄灰色シルト（地山、奈良時代遺構面）上面一標高68.2m（現GL-1.3m） 検出遺構：土坑、流路（時期不明） 【備考】地下遺構に影響を与えない基礎構造に計画変更し、工事着手。					
96-12次 (H9.3.10)	平城京左京三条一坊十四坪	三条大路二丁目545-5他	18m ²	八光自動車工業㈱/店舗・工場新築	H8・3306
【調査結果】現状：宅地 遺構検出面：暗黃灰色土上面（現GL-0.8m）、素掘り溝検出 奈良時代～暗灰色土上面（現GL-0.85m） 【備考】基礎工事が遺構面に影響を及ぼすため、発掘調査について協議中。					
96-13次 (H9.3.11)	平城京左京六条三坊三・六坪	恋の窪三丁目306	6m ²	永保徳之/共同住宅新築	H6・3033
【調査結果】現状：水田 遺構検出面：暗黃灰色粘土（地山、奈良時代遺構面）上面一標高56.9m（現GL-1.6m） 検出遺構：なし 【備考】地質調査の結果次第では基礎工事が遺構面に影響を及ぼす可能性もあり、基礎構造を検討中。					

※上欄左から、調査次数・調査日／遺跡名／調査地／調査面積／事業者・事業内容／書類受付番号

小規模確認調査・試掘調査一覧



試掘・小規模確認調査地位置図（1／50,000　数字は調査次数）

2 工事立会一覧

提出された埋蔵文化財発掘届出書及び現状変更等許可申請書に基づいて、文化庁・奈良県教育委員会から奈良市教育委員会が土木工事の際に立会うようにと指示されたもののうち、平成8年度に立会調査を実施したものは、下記の表のとおりである。

● 4~6月期(80条を除く) 実施分

57条2・3(周知の埋蔵文化財包蔵地内、届出・通知)

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考(変更の最大規模、所見など)
1	8.04.02	左京七条四坊六坪	東九条町1014-20	奥井元彦	個人住宅新築	H7-3251	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
2	8.04.03	左京五条四坊十二坪	大安寺六丁目840-3	大西啓之	個人住宅新築	H7-3238	水田	盛土工事済、造成GL-0.9m掘削、地山直上
3	8.04.05	左京九条四坊十二坪	東九条町134-1	福田壽一	青空資材置場施設	H7-3182	水田	現GL-0.3m掘削、地山直上
4	8.04.09	左京七条三坊四・五坪	八条一丁目3-4	畠田昇	農業用倉庫新築	H7-3270	水田	盛土工事済、造成GL-0.8m掘削、旧水田下層土内
5	8.04.09・10	左京一条三坊十二坪	法華寺町1362	川崎政一	共同住宅新築	H7-3219	畠地	現GL-1.0m掘削、新削代溝掘削GL-0.4m、柱列・礎・土塀移出
6	8.04.12	左京二条三坊六坪	法華寺町201-1	川村和子	宅地造成	H7-3034	水田	現GL-0.2m改良、遺物包含層内
7	8.04.15	右京三条四坊六・十一坪	宝来三丁目904-4他	ひかり装飾㈱	青空駐車場造成	H7-3253	水田	現GL-0.7m掘削、地山直上
8	8.04.15	左京五条六坊十一坪	西木辻町120-5他	乾健二	共同住宅新築	H7-3224	宅地	現GL-0.5m掘削、地山直上
9	8.04.15	左京九条三坊七坪	西九条町2丁目3-11	辻之内久徳	倉庫付事務所新築	H7-3228	水田	現GL-0.4m掘削、遺物包含層内
10	8.04.16	右京六条四坊四・五・十二坪	六条二丁目地内	関西電力㈱	地中電線修理設	H7-3107	道路	現GL-1.8m掘削、谷堆積層内
11	8.04.16	左京五条二坊十二・十三坪	大安寺西一丁目335-3他	大西伸之	宅地・賃貸置場設	H7-3265	水田	現GL-0.5m掘削、水田下層土内
12	8.04.17	右京北辺三坊二坪	西大寺新町一丁目175-1	小林淳浩	個人住宅改築	H7-3243	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
13	8.04.18	右京北辺三坊六坪	西大寺北町一丁目7-6	喜多尾三子	共同住宅新築	H7-3255	宅地	現GL-1.0m掘削、遺物包含層内
14	8.04.18	左京二条五坊十坪	法蓮南町28-1	寺田勝彦	個人住宅新築	H7-3289	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
15	8.04.19	右京北辺二坊八坪	秋篠早月町209-33	尹正憲	個人住宅新築	H7-3287	宅地	工事先行
16	8.04.23	東五坊大路	今辻子町20-1	吉田弘和	個人住宅新築	H7-3294	宅地	現GL-0.5m掘削、遺物包含層直上
17	8.04.26	薬師寺旧境内	西の京町459-1他	中野日雄	個人住宅新築	H7-3101	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
18	8.04.30	西大寺旧境内	西大寺本町一丁目208-2他	中島敦子	共同住宅新築	H7-3231	宅地	現GL-3.0m掘削、地山上面現GL-0.7m
19	8.05.02	右京三条一坊一坪	三条大路四丁目1-1	積水化学工業㈱	工場設備改造	H7-3259	工場	現GL-1.0m掘削、遺物包含層上面
20	8.05.07	西二坊大路	西大寺本町214-3	池田未処	事務所新築	H7-3248	宅地	現GL-1.2m掘削、地山上面現GL-1.1m
21	8.05.07	左京三条四坊一坪	芝辻町2丁目8-5	貴齊院邦彦	個人住宅新築	H7-3004	宅地	現GL-1.4m掘削、地山上面現GL-1.2m
22	8.05.08	左京六条三坊十一坪	大安寺二丁目33-1	熊木和子	青空駐車場造成	H7-3003	水田	現GL-0.2m掘削、水田作土内
23	8.05.10	右京五条三坊二坪	五条一丁目514-2	秦敏子	個人住宅新築	H7-3271	宅地	現GL-0.6m掘削、地山直上
24	8.05.10	左京一条五坊十三坪	法蓮町940-3	中村明夫	個人住宅新築	H7-3281	宅地	現GL-0.5m掘削、遺物包含層内
25	8.05.10	左京四条二坊三・六坪	四条大路一丁目3-1他	田淵 豊	宅地造成	H7-3034	水田	現GL-0.5m掘削、地山上面現GL-0.3m
26	8.05.13	右京三条二坊二坪	三条大路五丁目172-1他	高橋英夫	個人住宅新築	H7-3225	宅地	造成盛土内掘削
27	8.05.13	西大寺旧境内	西大寺新田町550-2	坂井正興	個人住宅新築	H7-3301	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
28	8.05.14	左京八条三坊二坪	西九条町一丁目3-10	池田好実	賄賂徴収(危険)	H8-3009	水田	現GL-0.4m掘削、地山直上
29	8.05.16	右京五条三坊九坪	平松二丁目256-1	島田康寛	個人住宅新築	H7-3244	宅地	現GL-1.1m改良、水田作土内
30	8.05.16	南紀寺遺跡	南紀寺三丁目761-10	中川 力	個人住宅新築	H7-3296	宅地	造成盛土内掘削
31	8.05.20	右京五条三坊七坪	五条二丁目601-2	上北成廣	個人住宅新築	H8-3010	宅地	工事先行
32	8.05.20	元興寺旧境内	高畠町1083-1	奈良市長	觀光案内板設置	H8-3019	宅地	現GL-0.7m掘削、造成盛土内
33	8.05.21	右京五条一坊十四坪	五条町195-1	猪俣義一	賄賂徴収(危険)	H7-3293	畠地	現GL-0.5m掘削、遺物包含層内
34	8.05.23	左京五条一坊十四坪	柏木町548-4他	川口勝治郎	青空駐車場造	H8-3047	水田	工事先行、現GL-0.5m掘削、遺物包含層内
35	8.05.24	西三坊大路	平松二丁目281-79他	中西憲雄他	個人住宅新築	H8-3002	宅地	現GL-0.6m掘削、地山上面現GL-0.4m
36	8.05.24	左京二条五坊十六坪	法蓮町975-6他	川崎正夫	個人住宅新築	H7-3285	宅地	現GL-0.8m掘削、地山直上
37	8.05.24	左京六条三坊十三坪	大安寺二丁目21-3他	紙谷明義	青空駐車場造成	H8-3005	水田	現GL-0.9m掘削、遺物包含層内
38	8.05.27	左京九条三坊十二坪	東九条町11-1	松村朝義	青空駐車場造成	H7-3254	水田	現GL-0.9m掘削、現GL-0.4m以下旧流路
39	8.06.01	左京五条二坊十二・十三坪	大安寺西一丁目359-1他	澤田住宅	分譲宅地造成	H8-3026	畠地	現GL-1.3m掘削、地山上面現GL-1.1m
40	8.06.05	左京三条四坊十四坪	大宮町二丁目5-24	奈良ハウジング㈱	建売住宅新築	H7-3291	宅地	現GL-1.2m掘削、地山直上
41	8.06.05	左京四条六坊十三坪	南城戸町9	未廣 優	個人住宅新築	H8-3012	宅地	現GL-1.0m掘削、地山上面現GL-0.2m
42	8.06.06	紀寺推定地	西紀寺町17-1	仁興善と	共同住宅新築	H8-3018	宅地	現GL-0.2m掘削、近世進構面直上
43	8.06.06	右京七条一坊十三坪	七条町105-4他	大塙任三	店舗付住宅新築	H8-3030	宅地	現GL-1.5m掘削、旧水田作土内
44	8.06.07	左京九条一坊十坪	西九条町五丁目2-3	岸田塗料㈱	店舗新築	H7-3307	宅地	現GL-1.2m掘削、旧水田作土内
45	8.06.10	左京一条四坊五坪	法蓮町567-1	岡本千代子	共同住宅新築	H7-3200	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
46	8.06.12	左京一条六坊七坪	法蓮町1228-3他	福住善民	個人住宅新築	H8-3020	宅地	現GL-1.0m掘削(土の入れ替え)
47	8.06.13	左京五条一坊十五坪	柏木町556-1他	勝利ダイス・パリティ	モデルハウス新築	H8-3035	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
48	8.06.17	右京二条三坊五坪	普原町226-1他	長谷川秀夫	賄賂徴収(危険)	H7-3191	畠地	造成盛土内掘削
49	8.06.17	南紀寺遺跡	高畠町35-1	井上 弘	個人住宅改築	H8-3022	宅地	現GL-1.1m改良、地山直上
50	8.06.20	松林苑跡	佐紀町2077-2	奈良市長	道路改修	H8-3028	道路	現GL-0.8m掘削、造成盛土内
51	8.06.21	元興寺旧境内	鶴福院町5	杉山惠造	個人住宅新築	H8-3041	宅地	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
52	8.06.24	左京五条二坊三・六坪	大安寺町509-3他	徳三世	青空駐車場造成	H8-3067	水田	現GL+1.0m盛土造成
53	8.06.24	左京四条二坊四坪	尼辻町435-1他	勝利ダイス・パリティ	青空資材置場造成	H8-3050	水田	現GL+1.0m盛土造成
54	8.06.24	左京二条七坊六坪	後藤町8	松井重憲	個人住宅増築	H7-3095	宅地	現GL-0.6m掘削、地山直上
55	8.06.26	左京五条四坊七坪	大安寺七丁目675-5	鎌田康雄	個人住宅新築	H7-3304	水田	現GL+0.5m、造成現GL-0.1m掘削
56	8.06.28	二条大路・普原東遺跡	普原町234他	新奈良開発㈱	建売住宅新築	H8-3064	宅地	現GL-3.0m地中杭

● 7～9ヶ月期（80条は5～9ヶ月期）実施分

57条2・3（周知の埋蔵文化財包蔵地内、届出・通知）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の最大規模、所見など）
57	8.07.01	朱雀大路・三条大路	三条大路三丁目457-3他	福井言重	共同住宅新築	H8・3033	宅地	地中杭、地山上面現GL-1.1m
58	8.07.01	古市城跡	古市町1846-52	米田昭正	個人住宅増築	H7・3306	宅地	現GL-1.0mまで造成盛土を確認
59	8.07.02	右京三条四坊十四坪	宝来四丁目94	藤久保美員	青空駐車場造成	H8・3054	畠地	工事先行、盛土造成、擁壁工事
60	8.07.03	右京三条四坊七坪	宝来四丁目93A-2	松村義雄他	青空駐車場造成	H8・3082	畠地	工事先行、盛土造成、擁壁工事
61	8.07.05	右京北辺三坊三坪	西大寺北町一丁目270-1他	渡辺悦男	共同住宅新築	H8・3046	水田	現GLを維持
62	8.07.05	左京五条二坊十三坪	大安寺西一丁目330-7他	松本信昭	資料蔵・宅地販	H8・3078	水田	試掘+2次踏査、工事並行GL-0.6m掘削、旧水田下層土内
63	8.07.08	左京三条二坊六坪	三条大路一丁目6-7	樹森 玲	個人住宅改築	H8・3061	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
64	8.07.10・23	正暦寺境内	菩提山町地内	市道事業管理者	上水道新設	H8・3052	道路	現GL-0.7~0.9m掘削
65	8.07.11	左京四条六坊五坪	南魚屋町11	木興哲弥	個人住宅新築	H8・3025	駐車場	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
66	8.07.11	左京四条六坊十六坪	角振新屋町1-1他	倣友楽	商業ビル新築	H8・3048	宅地	現GL-2.0mまで旧建物基礎
67	8.07.12	左京三条二坊十坪	二条大路南一丁目地内	奈良市長	公共下水道新築	H7・3245	道路	現GL-1.4m掘削、遺物包含層内
68	8.07.12	興福寺旧境内	東向中町27	原田正枝	店舗・事務所増築	H7・3292	宅地	現GL-1.9m掘削、造成盛土内
69	8.07.15	右京二条四坊三坪	青野町135-3	木村徳治郎	共同住宅新築	H8・3049	宅地	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
70	8.07.15	左京五条五坊十四坪	西木过町八軒町口101-11	高天 戊	共同住宅新築	H8・3060	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
71	8.07.15	右京五条三坊十三坪	五条三丁目775-5他	今田守彦	個人住宅増築	H8・3085	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
72	8.07.22	古市城跡	古市町2112-43	南浦幸孝	宅地造成	H8・3038	宅地	工事先行
73	8.07.22	古市城跡	古市町2234-5他	内村成幸	個人住宅改築	H8・3089	宅地	現GL-4.0m掘削、地山上面現GL-0.4m
74	8.07.29	古市城跡	古市町1705-22	池田清二	個人住宅改築	H8・3080	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
75	8.07.31	左京二条五坊十二坪	船橋町10	奈良市長	事務所新設	H8・3071	宅地	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
76	8.07.31	左京一条五坊六坪	法蓮町946-5	辻本哲郎	個人住宅新築	H8・3043	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
77	8.08.05	奈良阪町遺物散布地	奈良阪町立石	市道事業管理者	配水池新築	H7・3048	構造物	造成盛土内
78	8.08.06	右京五条二坊一坪	五条町274-4他	関西電力㈱	電配線路新設	H8・3015	道路	現GL-2.6m掘削、池堤防盛土内
79	8.08.06	左京一条六坊六坪	法蓮町1239-3他	廣瀬 保	共同住宅新築	H8・3066	宅地	現GL-4.0m地杭
80	8.08.08	左京五条二坊六坪	四条大路南町385-36	元谷徳明	個人住宅改築	H8・3084	宅地	造成盛土内地盤改良
81	8.08.09	左京五条五坊九坪	大森町32-4他	北岡田鶴子	個人住宅新築	H8・3083	宅地	現GL-0.5m改良、旧水田作土内
82	8.08.12	左京一条五坊一坪	法蓮町847	近東弘七	個人住宅改築	H8・3056	宅地	現GL-0.5m掘削、地山上面現GL-0.3m
83	8.08.12	左京四条三坊十五坪	三条栄町201-1他	大和システム㈱	店舗新築	H8・3133	宅地	工事先行、現GL-0.5m掘削、造成盛土内
84	8.08.20	二条大路	芝辻三丁目103-1	櫛松田組	共同住宅新築	H7・3214	宅地	現GL-1.0m掘削、旧水田下層土内
85	8.08.21	左京五条三坊十三坪	大安寺七丁目147-1	澤田欣次	建売住宅新築	H8・3058	水田	現GL+1.0m盛上造成、造成GL-0.1m掘削
86	8.08.22	左京二条五坊十一坪	法蓮町27-1他	西村英一	個人住宅新築	H8・3042	宅地	現GL-0.5m掘削、地山上面現GL-0.4m
87	8.08.22	左京一条五坊五坪	法蓮町796-6	一箭友三郎	個人住宅新築	H8・3077	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
88	8.08.26	右京三条四坊四坪	宝来三丁目779-1	松浦義雄他	青空駐車場造成	H8・3092	宅地	現GL-1.2m掘削、遺物包含層内
89	8.08.26	西一坊訪問路	四条大路四丁目46-3	中村大蔵	個人住宅新築	H8・3096	宅地	現GL-4.0m地杭
90	8.08.26	左京六条三坊十四坪	大安寺二丁目地内	市道事業管理者	水道埋設	H8・3138	道路	現GL-1.7m掘削、過去の掘形内
91	8.08.28	右京六条一坊十一坪	西の京町98-2他	稻原昇好	個人住宅新築	H8・3095	宅地	現GL-1.1m掘削、地山上面
92	8.08.28	右京三条二坊十五坪	横領町406-1他	三和住宅㈱	建売住宅新築	H8・3113	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
93	8.08.28	左京五条二坊三坪	大安寺町506	櫻三世	青空駐車場造成	H8・3129	水田	現GL+2.0m盛上造成
94	8.08.30	左京四条二坊四坪	尼辻町436-11	櫛瓦木	分離宅築(遺跡)	H8・3114	水田	現GL-0.9m掘削、地山上面現GL-0.7m
95	8.08.30	左京四条二坊四坪	尼辻町436-10	櫛瓦木	分離宅築(遺跡)	H8・3115	水田	現GL-0.9m掘削、地山上面現GL-0.7m
96	8.08.30	左京四条二坊四坪	尼辻町436-2	櫛7-ストーム	青空駐車場造成	H8・3116	水田	現GL-0.9m掘削、地山上面現GL-0.7m
97	8.09.02	左京五条四坊七坪	大安寺七丁目676-1	米田 忠	個人住宅新築	H7・3228	水田	造成GL-0.1m掘削、造成盛土内
98	8.08.02	右京三条一坊八・九坪	二条大路南四丁目地内	奈良市長	道路舗装新設	H8・3051	道路	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
99	8.09.02	左京三条五坊八坪	芝辻町一丁目102	山本定一	青空資材置場造成	H8・3131	水田	盛土造成
100	8.09.02	左京三条五坊八坪	芝辻町一丁目103	オーエスハウジング㈱	青空駐車場造成	H8・3132	水田	盛土造成
101	8.09.05	東三坊大路	大安寺二丁目地内	奈良市長	公共下水道造成	H8・3090	道路	現GL-2.4m掘削、過去の掘形内
102	8.09.05	右京七条一坊十四坪	七条町95-1	奈良中央商事㈱	店舗新築	H8・3112	水田	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
103	8.09.09	左京二条五坊十一坪	法蓮町986-24	御明徹朗	個人住宅改築	H8・3093	宅地	
104	8.09.10	右京五条三坊四坪	五条二丁目579-1	森本平吉	青空駐車場造成	H8・3036	水田	現GL+0.3m盛上造成
105	8.09.10	左京四条四坊十坪	三条宮前町272-4	西村弘文	個人住宅新築	H8・3069	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
106	8.09.12	右京三条一坊十三坪	三条大路五丁目198-1	米澤之郎	倉庫付事務所新築	H 8・3145	水田	現GL-0.2m掘削、水田作土内
107	8.09.17	左京七条二坊十三坪	北半田東町1他	鰐原元わら籠	ホテル別館新築	H7・3273	宅地	現GL-4.3m掘削、地山上面現GL-0.9m
108	8.09.17	右京七条三坊十坪	七条一丁目733-7	坪井 彪	個人住宅建替	H 8・3101	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
109	8.09.17	古市城跡	古市町2235-2	川北康雄	個人住宅改築	H8・3104	宅地	掘削、造成盛土内
110	8.09.18	右京五条三坊九坪	平松二丁目355-4他	辰野弘幸	個人住宅新築	H8・3032	宅地	掘削、造成盛土内
111	8.09.18	左京四条四坊二坪	三条添川町212-2	アル・ジ・滋賀販売㈱	店舗新築	H8・3040	宅地	現GL-0.2m掘削、旧水田作土内

●80条（国指定史跡地内、現状変更）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の最大規模、所見など）
1	8.05.27 28	史跡東大寺旧境内	雜司町地内	水道局管理者	水道管理設	H8・1017	道路	現GL-1.2m掘削、地山上面現GL-0.9m、中世土坑1基検出
2	8.06.07	史跡平城京朱雀大路跡	三条大路四丁目1-1	積水化学工業	工場設備改造	H7・1074	工場	現GL-0.5m掘削、遺物包含層内
3	8.07.03 05	史跡大安寺旧境内	大安寺二丁目18-1	(宗)大安寺	①本堂礎石移動 ②塔石移動	H5・1086	寺院	①現GL-0.2m掘削、造成盛土内 ②現GL-0.1m掘削、造成盛土内
4	8.08.12	史跡大安寺旧境内	大安寺町1150	武野 清	宅地内下水道新設	H8・1029	宅地	現GL-0.7m掘削、遺物包含層内
5	8.08.20	史跡大安寺旧境内	大安寺一丁目11-24	市川 博	宅地内下水道新設	H8・1028	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内

工事立会一覧

●10~12月期実施分

57条2・3（周知の埋蔵文化財包蔵地、届出・通知）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の最大規模、所見など）
112	8.10.02	左京四条六坊三坪	杉ヶ町68-4	喜多祥介	共同住宅新築	H8・3118	宅地	現GL -0.5m掘削、造成盛土内
113	8.10.04	左京五条六坊八坪	南新町5	安田信司	立体駐車場新設	H8・3055	宅地	現GL -0.8m掘削、遺物包含層内
114	8.10.08	左京二条五坊七・十一坪	法蓮町270-3	興和不動産	建売住宅新築	H8・3153	宅地	現GL -0.1m掘削、造成盛土内
115	8.10.09	右京三条三坊一・二坪	横領町406-1・3	三和住宅㈱	建売住宅新築	H8・3113	宅地	現GL -0.3m掘削、地山上面現GL -0.2m
116	8.10.11	元興寺旧境内	尾沙門町5-1他	向井 保	個人住宅新築	H8・3176	宅地	現GL -0.2m掘削、表土内
117	8.10.14	左京二条七坊一坪	西包永町251-1他	川邊祐司	住宅離れ新築	H8・3144	宅地	現GL -0.1m掘削、造成盛土内
118	8.10.14	古市城跡	古市町2387-2	田々美栄子	個人住宅新築	H8・3169	畠地	現GL -0.9m掘削、地山上面現GL -0.6m
119	8.10.16	右京四条四坊八坪	宝来三丁目190-3他	吉村博成他	個人住宅新築	H8・3150	宅地	現GL -0.8m改良、造成盛土内
120	8.10.16	右京二条二坊三坪	二条町3丁目135-2	鶴賀賀福寺事務課	バーベル場造成	H8・3222	宅地	旧プール解体、盛土造成
121	8.10.17	右京一条北辺二坊	西大寺東町1-25-3	山口恵三	店舗付事務所新築	H8・3217	宅地	現GL -1.8m掘削、造成盛土内
122	8.10.18	平城京越田跡池	北之庄町18-4他	桐山尚子	（個人住宅）宅地造成	H8・3103	水田	現GL +0.5m盛土造成
123	8.10.21	左京二条五坊一坪	法蓮町334-1	森岡富蔵	店舗付共同住宅新築	H8・3134	宅地	現GL -0.9m掘削、地山上面現GL -0.7m
124	8.10.21	左京七条四坊十坪	七条西町一丁目874-15	安川晋二	個人住宅新築	H8・3148	宅地	現GL -0.1m掘削、造成盛土内
125	8.10.21	左京五条三坊八坪	恋の窪一丁目596-1	辰巳伊之松	資材置場造成	H8・3184	水田	現GL -0.5m掘削、水田下層土内
126	8.10.22	右京五条一坊九坪	五条町252-4他	中村弘一	農家住宅新築	H8・3106	水田	現GL -0.2m掘削、水田作土内
127	8.10.29	左京三条四坊十三坪	大宮町2丁目120-1他	山尾富士雄	個人住宅新築	H8・3073	宅地	現GL -0.8m掘削、旧水田作土内
128	8.10.29	左京一條七坊八坪	川上町595-2	池田将光	賃貸住宅新築	H8・3164	宅地	現GL -1.8m掘削、現GL -0.8m以下旧路流
129	8.10.29	右京四条二坊七坪	尼辻南町383-6	伏瀬玉惠子他	個人住宅新築	H8・3187	宅地	現GL -0.6m掘削、造成盛土内
130	8.11.01	左京四条二坊五坪	四条大路一丁目459-12	港 征男	個人住宅新築	H8・3167	宅地	現GL -0.4m掘削、造成盛土内
131	8.11.05	東四坊大路	東九条町718-7	清水宗一	事務所付住宅新築	H8・3097	宅地	現GL -1.0m掘削、造成盛土内
132	8.11.06	右京四条三坊七坪	平松一丁目26-1他	中城文雄	車庫・門屋新築	H8・3122	宅地	現GL -1.2m掘削、造成盛土内
133	8.11.07	左京四条六坊十坪	小川町1	杉田清史	事務所新築	H8・3197	宅地	現GL -1.1m掘削、造成盛土内
134	8.11.08	左京一条五坊二坪	法蓮町731-2	竹林信次	個人住宅新築	H7・3233	宅地	現GL -0.8m掘削、地山上面現GL -0.6m
135	8.11.08 +20	奈良阪町遺物散布地	奈良阪町2846	市水道 事業管理者	①貯水池新設 ②道路タクシーリ設	H7・3236	植樹地	①現GL L -6.5m掘削、地山 ②現GL L -8.5m掘削、地山
136	8.11.11	左京一条七坊六坪	西包永町4-1他	北村謙一	個人住宅新築	H8・3195	宅地	現GL L -0.5m掘削、整地土内
137	8.11.14	左京三条一坊四坪	三条大路三丁目460-1他	米澤之郎	青空駐車場造成	H8・3203	水田	現GL L -0.6m掘削、水田下層土内
138	8.11.14	左京三条一坊四坪	三条大路三丁目458-4	米澤之郎	青空駐車場造成	H8・3204	水田	現GL L -0.6m掘削、水田下層土内
139	8.11.15	西大寺旧境内	西大寺新田町538-1	松田芳一	個人住宅改築	H7・3009	宅地	現GL L -0.5、掘削、地山直上
140	8.11.15	西一坊大路	二条大路南五丁目391-2	水原三郎	個人住宅新築	H8・3154	宅地	現GL L -0.3m掘削、造成盛土内
141	8.11.18	右京二条四坊七坪	青野町257-1	東仲貞佳	個人住宅新築	H8・3192	宅地	現GL L -0.3m掘削、地山直上、土坑検出
142	8.11.21	薬師寺旧境内・西一坊大路	西の京町178-1他	柏原憲一	門屋・車庫新築	H8・3193	宅地	現GL L -0.8m掘削、現GL L -0.7m中世遺構面
143	8.11.25	-一条南大路	法華寺町1376	中村忠吉	店舗付共同住宅新築	H8・3151	宅地	現GL L -0.5m掘削、造成盛土内
144	8.11.25	西大寺旧境内	西大寺野神町一丁目617-1	山本雅宥	共同住宅新築	H8・3215	宅地	現GL L -0.2m掘削、造成盛土内
145	8.11.26	東二坊坊間路	杏町60-1	森山敏夫	青空駐車場造成	H8・3255	水田	現GL L -0.3m改良、水田作土内
146	8.11.27	右京三条四坊一坪	菅原町428-2	中西哲也	個人住宅新築	H8・3260	宅地	工事先行
147	8.11.27	右京三条四坊一坪	菅原町428-1	中西透人	個人住宅新築	H8・3261	宅地	工事先行
148	8.11.27	左京四条六坊十四坪	東城戸10他	森 克容	共同住宅新築	H8・3166	宅地	現GL L -2.0m掘削、地山上面現GL L -1.2m
149	8.12.02	左京一条七坊六坪	川上町573-8	山本達也他	個人住宅改築	H8・3230	畠地	盛土工事済、現GL L -0.2m掘削、造成盛土内
150	8.12.02	左京一条七坊六坪	川上町573-13	吉岡竹男他	個人住宅新築	H8・3231	畠地	盛土工事済、現GL L -0.2m掘削、造成盛土内
151	8.12.02	左京一条七坊六坪	川上町573-8	石井種夫	個人住宅新築	H8・3171	畠地	盛土工事済、現GL L -0.2m掘削、造成盛土内
152	8.12.02-03	西一坊大路・一条間條路	二条町一丁目・二丁目地内	奈良市長	公共下水道築造	H8・3178	道路	現GL L -1.2m掘削、地山上面現GL L -0.9m
153	8.12.02	左京四条二坊十四坪	四条大路一丁目462-76	亀井浩之	個人住宅新築	H8・3168	宅地	現GL L -0.7m掘削、造成盛土内
154	8.12.02	右京七条二坊七坪	六条町392-1	浅川清一	店舗付住宅新築	H8・3253	水田	現GL L -0.5m掘削、地山上面現GL L -0.3m
155	8.12.06	右京一条二坊一坪	佐紀町15-1他	中川 信	個人住宅改築	H8・3199	宅地	現GL L -0.3m掘削、造成盛土内
156	8.12.10	左京八条一坊十三坪	杏町109	奈良市長	青空駐車場造成	H8・3226	宅地	現GL L -0.3m掘削、造成盛土内
157	8.12.11	左京四条五坊十三坪	大森町301-3	広田久平	個人住宅新築	H8・3225	宅地	現GL L -0.3m掘削、造成盛土内
158	8.12.12	左京九条二坊十五坪	西九条町2丁目11-1	田中啓治	事務所・駐輪場	H8・3235	水田	現GL L -0.5m掘削、奈良時代遺物包含層内
159	8.12.13	左京三条五坊九坪	芝辻町14-5	江口 洋他	個人住宅新築	H8・3172	宅地	現GL L -0.4m掘削、造成盛土内
160	8.12.13	古市遺跡	古市町1705-12	和田幹博他	個人住宅新築	H8・3182	宅地	現GL L -0.7掘削、造成盛土内
161	8.12.13	西三坊大路	西大寺野神町一丁目587	西奈良不動産㈱	共同住宅新築	H8・3237	宅地	工事先行
162	8.12.16	南紀寺遺跡	南紀寺三丁目284-1	山本裕嗣	共同住宅新築	H8・3177	宅地	現GL L -0.3m掘削、遺物包含層内
163	8.12.16	左京二条四坊八坪	法蓮町396-5	正月恵美	共同住宅新築	H8・3262	駐車場	現GL L -0.4m掘削、造成盛土内
164	8.12.24	左京九条二坊九坪	西九条町3丁目2-9	植田源次郎	青空駐車場造成	H8・3266	水田	現GL L -0.3m掘削、水田作土内
165	8.12.24	西三坊大路	青野町135-1	植原 保	共同住宅新築	H8・3259	宅地	現GL L -0.5m掘削、造成盛土内
166	8.12.25	古市城跡	古市町2059-15	平八重正幸	個人住宅新築	H8・3205	宅地	現GL L -0.9m掘削、地山直上

●80条（国指定史跡地内、現状変更）

番号	調査日	遺跡名	調査地	申請者	変更内容	申請番号	現況	備考（改変の最大規模、所見など）
6	8.10.28	史跡大安寺旧境内	大安寺四丁目1127-1他	樹谷 紘	個人住宅建替	H7・1060	宅地	市のDA-72次調査済、工事状況の確認・現GLを維持

工事立会一覧

● 1～3月期実施分

57条2・3（周知の埋蔵文化財包蔵地、届出・通知）

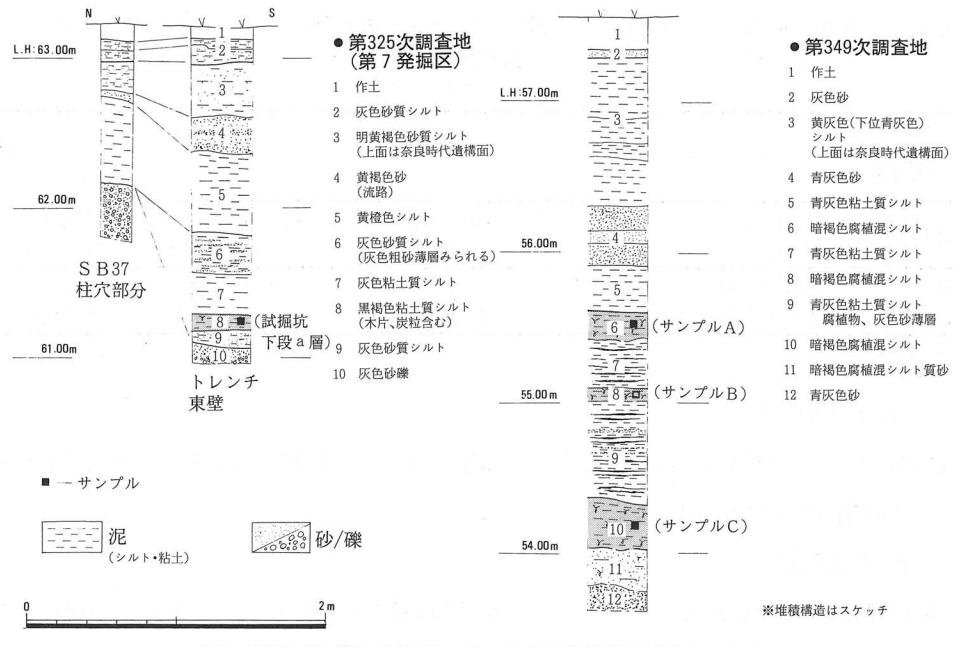
番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	工事内容	届出番号	現況	備考（改変の最大規模、所見など）
167	9.01.08	興福寺旧境内	西御門町3-1他	懶服部商事	事務所ビル新築	H7-3267	宅地	試掘96-3次調査実施、工事立会
168	9.01.08	新薬師寺旧境内	高畠町366-13他	福井常夫	個人住宅改築	H8-3186	宅地	現GL-維持
169	9.01.08	元興寺旧境内	元興寺町34	上松康員	個人住宅新築	H8-3256	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
64	※	正暦寺境内	菩提山町地内	市道事業管理者	上水道築造	H8-3052	道路	現GL-1.5m程度掘削、地山上面現GL-0.3m、暗渠1条確認
(※ : 9.01.16, 23、24、27~31、02.03~07、10~13)								
170	9.01.20	左京一条七坊三坪	西包永町19-1他	岡山英雄	個人住宅改築	H8-3249	宅地	掘削、造成盛土内
171	9.01.21	右京二条二坊二坪	二条町三丁目90-40	齋藤謙児・恵美子	個人住宅新築	H8-3214	宅地	現GL-4.5m柱状改良、地山上面現GL-1.7m
172	9.01.23	平城京越田池跡	北之庄町（五德池）	奈良市長	護岸工事	H8-3208	溜池	堤防上面-3.4m掘削、地山上面堤防上面-2.5m
173	9.01.25	左京九条一坊十四坪	西九条町四丁目3-1	齋藤セキイ工務店	食堂増築	H8-3241	工場	現GL-1.2m掘削、造成盛土内
174	9.01.31	左京六条三坊十四坪	大安寺二丁目7-2他	大西敏夫他	青空駐車場造成	H8-3275	水田	現GL-0.8m掘削、地山上面現GL-0.4m
175	9.02.03	左京五条一坊十坪	柏木町625	小倉正夫	個人住宅改築	H8-3273	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
176	9.02.03	右京七条二坊二坪	六条町114-1	左野光男	店舗新築	H8-3196	水田	盛土工事済、現GL-1.0m掘削、造成盛土内
177	9.02.04	右京二条二坊十五坪	西大寺国見町二丁目296-50	喜多修	個人住宅新築	H8-3194	宅地	現GL-0.8m掘削、旧水田作土上面
178	9.02.05	左京三条一坊四坪	三条大路三丁目458-4他	米澤之郎	店舗新築	H8-3202	水田	試掘8-吹脂調査施、工事立会、現GL-0.2m掘削、旧水田作土内
179	9.02.07	元興寺旧境内	薬師堂町11-2	武山源太郎	個人住宅新築	H8-3213	宅地	現GL-1.3m掘削、地山上面現GL-0.7m
180	9.02.10	左京四条六坊十三坪	阿字万字町15	岡田弘長	個人住宅新築	H8-3179	宅地	現GL-0.8m掘削、地山直上、19世紀埋葬土坑
181	9.02.10	左京四条五坊十六坪	下三条町30-1	橋本勇	個人住宅新築	H8-3307	宅地	現GL-2m地中杭、灰色粘砂層内
182	9.02.12	左京四条四坊八坪	三条添川町63-3他	齋藤ヨーフィアノイスナシタナカ	事務所新築	H8-3219	宅地	試掘8-吹脂調査施、工事立会、現GL-1.9m掘削、旧水田作土上面
183	9.02.13	左京六条一坊七坪	柏木町地内	奈良市長	公共下水道築造	H8-3312	道路	現GL-6.6m掘削、地山上面現GL-1.8m
184	9.02.14	東二坊大路	二条大路南一丁目1-1	齋藤電力株式会社	地中送電線増設工事	H8-3221	市庁舎敷地	現GL-8.5m掘削、上半は擁土、下半は旧河道堆積層内
185	9.02.17	左京八条三坊七坪	杏町568-1	藤谷鉄子	青空駐車場造成	H8-3210	水田	現GL-0.4m掘削、水田下層土内
186	9.02.17	左京五条五坊十四坪	西木辻町97-1	モリタ建設㈱	共同住宅新築	H8-3250	宅地	現GL-1.1m掘削、地山上面現GL-1.0m
187	9.02.17	左京一条二坊十六坪	法華寺町地内	奈良市長	河川改修	H8-3270	河川	河床-0.5m掘削、灰色粘土層内
188	9.02.20	左京二条三坊七・二坪	法華寺町319-1	阿武義明	個人住宅新築	H8-3283	畑地	現GL+0.6m盛土造成、掘削は造成盛土内
189	9.02.23	左京九条一坊五・十二坪	西九条町五丁目3-1	齋藤セキイ工務店	工場増築	H8-3240	工場	現GL-1.7m掘削、造成盛土内
190	9.02.24	左京四条六坊十五坪	光明院町13-1他	藤本俊徳	個人住宅新築	H8-3254	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
191	9.02.24	ウワナベ古墳（外堤）	法華寺町1824-3	市道事業管理者	立入止柵設置	H8-3269	翻訳	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
192	9.02.27	左京二条六坊四坪	北市町80-13	川田雅彦他	個人住宅新築	H8-3293	宅地	現GL-0.6m掘削、造成盛土内
193	9.03.03	奈良阪町遺物散布地	川上町969	市道事業管理者	貯留槽築造	H8-3208	槽地	現GL-4.0m掘削、造成盛土内
194	9.03.03	左京一条北辺四坊三坪	西大寺宝ヶ丘642-6他	肥後勝久	個人住宅改築	H8-3280	宅地	現GL-1.6m改良、地山上面現GL-1.5m
195	9.03.03	左京二条三坊一坪	法華寺町363-2	畠野と勇	個人住宅新築	H8-3282	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
196	9.03.05	左京三条三坊四坪	大宮町七丁目1-7	齋藤電力株式会社	車庫新設	H8-3294	宅地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
197	9.03.07	左京一条五坊六坪	法蓮町27-2	大鍊健司	個人住宅新築	H8-3300	宅地	現GL-2.2m掘削、地山上面現GL-0.4m
198	9.03.07	池田遺跡	池田町201-5	富岡已代治	個人住宅・工場新築	H8-3309	宅地	工事先行、県教委1983年度発掘調査地内
199	9.03.10	右京六条四坊十三・十四坪	六条二丁目855-5	奈良市長	道路改良	H8-3248	道路・水田	現GL-0.7m掘削、地山上面現GL-0.6m
200	9.03.10	右京四条二坊七坪	尼辻南町383-7他	上田一弘他	個人住宅新築	H8-3251	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
201	9.03.11	左京一条四坊十三坪	法蓮町705-1他	井田亨	店舗新築	H8-3263	宅地	試掘8-1次調査実施、工事立会、現GL-0.5m掘削、造成盛土内
202	9.03.13	右京四条二坊十三坪	五条一丁目40	藤井利夫	御池町成・倉庫新築	H8-3321	水田	現GL+0.6m盛土造成、掘削は造成盛土内
203	9.03.17	左京四条五坊十坪	杉ヶ西町27	山本俊彦	個人住宅新築	H8-3301	宅地	現GL-0.5m掘削、遺物包含層内
204	9.03.17	左京二条六坊六坪	西新在家号所町4-1	中嶋肇	共同住宅新築	H8-3326	宅地	現GL-1.0m底板、地山上面現GL-0.4mの難と思われる遺構を後出
205	9.03.18	左京三条六坊三坪	高天町454-2	五十鈴建設㈱	モナルーム新設	H8-3234	宅地	現GL-0.5m掘削、旧表土内
206	9.03.21	右京六条二坊四坪	六条町332	徳田博信	個人住宅新築	H8-3189	宅地	現GL-0.2m掘削、造成盛土内
207	9.03.24	左京一条七坊四坪	川上町564-18	酣狂・卯齋	個人住宅新築	H8-3245	宅地	現GL-0.5m掘削、旧表土内
208	9.03.24・27	左京二条七坊二坪・東六坊大路	北川端町3-1他・北袋町29-2	松田俊彦	個人住宅新築	H8-3267	宅地	現GL-1.0m掘削、旧河道堆積層内
209	9.03.25	左京四条四坊六・七坪	三条添川町227-1	懶サシギ	事務所新築	H8-3322	宅地	現GL-0.8m掘削、旧水田作土内
210	9.03.26	左京三条一坊一坪	二条大路南三丁目201-1	奈田トーラリークラブ	顕影碑建立	H8-3316	緑地	現GL-0.3m掘削、造成盛土内
211	9.03.27	左京五条三坊五坪	恋の窪二丁目18-5	田島孝	個人住宅新築	H8-3302	宅地	現GL-0.4m掘削、造成盛土内
212	9.03.27	左京六条一坊七・十坪	柏木町159-4	川口慶四郎	店舗新築	H8-3320	宅地	現GL-0.5m掘削、造成盛土内
213	9.03.27	南紀寺遺跡	南紀寺三丁目293-3	日本ソリソース㈱	分譲宅地造成	H8-3329	宅地	盛土造成、擁壁は掘削を伴わない
214	9.03.27	南紀寺遺跡	南紀寺三丁目292-9	田中洋	青空駐車場造成	H8-3332	水田	現GL-1.2m以上掘削、地山上面現GL-1.1m

付編 自然科学分析

付編 自然科学分析

本年度は、奈良盆地北部の地形の形成過程を把握する手がかりとなる資料を得るため、平城京第325次調査第7発掘区で奈良時代の遺構面下2.1mまで掘り下げた試掘坑で確認した腐植混じりの堆積物中に含まれていた流木と、平城京第349次調査の井戸S E 08の掘形で確認した腐植混じりの堆積物について、放射性炭素年代測定を行った（調査地の土層と試料採取部分については下図参照）。なお、同時にこれらの堆積物中に含まれる花粉や珪藻遺骸についても分析を行っている。

（安井宣也）



(1) 平城京第325-7・349次調査採取試料の放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究所

I 平城京第325次調査第7発掘区採取試料

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.3	試掘坑* 下段d層	植物遺体	酸-アルカリ-酸洗浄 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション

2. 測定結果

試料名	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 交点/1 σ / 2 σ	測定No. (Beta-)
No. 3	31,090±370	-27.3	31,050±370	* * * * *	98810

II 平城京第349次調査採取試料

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.1	S K02壁面* サンプルA	有機質土	酸-アルカリ-酸洗浄 低濃度有機物処理 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション
No. 2	S K02壁面* サンプルC	有機質土	酸-アルカリ-酸洗浄 低濃度有機物処理 ベンゼン合成	β -線計数法 液体シンチレーション

2. 測定結果

試料名	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 交点/1 σ / 2 σ	測定No. (Beta-)
No. 1	24,610±240	-29.8	24,540±240	* * * * *	98808
No. 2	26,000±260	-29.6	25,930±260	* * * * *	98809

* : 採取時の試料名称

1) ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C} / ^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在 (1950年 A.D.) から何年前 (B.P.) かを計算した値。

^{14}C の半減期は5,568年を用いた。

2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C} / ^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}$)。この値は標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表す。

3) 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C} / ^{12}\text{C}$ の測定値に補正值を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を補正することにより、暦年代 (西暦) を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値を使用した。ただし、この補正是、10,000年 B.P. より古い試料には適用できない。

5) 試料の測定は、米国のBeta Analytic社で行われた。

(2) 平城京第325-7・349次調査における花粉分析

天理大学附属天理参考館 金原正明
環境考古研究所 金原正子

I 平城京第325次調査（第7発掘区）における花粉分析

1 試料

試料は第7発掘区の下層確認試掘坑「下段d層」の1点であり、都合上と下の2試料を対象とした。

2 方法

花粉粒の分離抽出は、次の物理化学処理を施して行った。1) 5%水酸化カリウム溶液処理。2) 0.5mmの篩別、沈殿法による砂粒の除去。3) 25%フッ化水素酸溶液処理。4) 水酢酸で脱水後、アセトトリシス処理（無水酢酸9：1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎）。5) 再び水酢酸を加えた後、水洗。6) 沈渣に石炭酸フクシンで染色、グリセリンゼリーで封入。検鏡はプレパラート作成後直ちに、生物顕微鏡によって300～1,000倍で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節及び類の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン（-）で結んで示した。なお、科、亜科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。

3 花粉群集の特徴と推定される植生

「下段d層」の上位から花粉が比較的多く検出された。樹木花粉より草本花粉の占める割合が高く、ヨモギ属、イネ科、カヤツリグサ科が優占する。樹木花粉ではコナラ属コナラ亜属を中心に出現する。他にシダ植物单条溝胞子が極めて多い。以上から、堆積地周辺

花粉分類群 和名	325-7次下層d層	
	①	②
樹木花粉		
モミ属	1	
ツガ属	1	
マツ属複維管束亜属	1	2
スギ	4	
コウヤマキ	1	
イチイ科—イヌガヤ科 —ヒノキ科	8	6
クルミ属		1
サワグルミ		1
ハンノキ属	4	5
カバノキ属	2	
クマシデ属—アサダ	8	1
クリ—シイ属	2	1
ブナ属	7	
コナラ属コナラ亜属	29	19
コナラ属アカガシ亜属	5	
ニレ属—ケヤキ	4	2
エノキ属—ムクノキ	3	
サンショウウ属		1
カエデ属	1	3
ニワトコ属—ガマズミ属	5	
樹木・草木花粉		
クワ科—イラクサ科	1	1
マメ科		
草木花粉		
オモダカ属	1	
イネ科	72	10
カヤツリグサ科	28	15
ホシクサ属	1	
アカザ科—ヒュウ科	1	
ナデシコ科		1
キンポウゲ属	2	
アブラナ科	1	
ワレモコウ属	8	
セリ科	11	
タンボボ亜科	1	1
キク亜科	7	1
ヨモギ属	127	8
シダ植物胞子		
单条溝胞子	207	15
三条溝胞子	2	5
樹木花粉	86	42
樹木・草木花粉	1	1
草木花粉	260	36
花粉総数	347	79
未同定花粉	3	3
シダ植物胞子	209	20

第325次調査 花粉分析結果

はシダ植物、ヨモギ属、イネ科、カヤツリグサ科の生育する草地であり、オモダカ属やホシクサ属の水湿地植物も含まれることから湿地からやや乾燥地であった。樹木花粉でコナラ属コナラ亜属が優占することから、森林植生はナラ類を中心とする落葉広葉樹林が想定される。なお、「下段d層」検出の木材は環孔材で広葉樹である。

II 平城京第349次調査における花粉分析

1 試料

試料は井戸 S E 08掘形壁面採取の2点が対象であり、都合上 A B C の3試料を対象とした。

花粉分類群 和名	349次 S E 08壁面		
	A	B	C
樹木花粉			
モミ属			1
トウヒ属			1
ツガ属	6	1	13
マツ属複維管束亜属	10	1	19
マツ属単維管束亜属	27		6
スギ		4	3
コウヤマキ			1
イチイ科—イヌガヤ科 —ヒノキ科	1	7	5
ハンノキ属	15	7	7
カバノキ属	12	11	9
ハシバミ属			1
クマシデ属—アサダ	12	11	14
クリーシイ属		1	
ブナ属	4	1	7
コナラ属コナラ亜属	15	26	18
コナラ属アガシ亜属	10	1	1
ニレ属—ケヤキ	4	2	2
エノキ属—ムクノキ		2	3
シナノキ属			1
ニワトコ属—ガマズミ属			4
樹木・草木花粉			
クワ科—イラクサ科			1
マメ科	7		
草木花粉			
オモダカ属		1	
イネ科	13	21	39
カヤツリグサ科	99	225	165
カラマツソウ属		3	
ワレモコウ属	4	8	7
セリ科		35	1
シソ科		1	
タンボポ亜科			1
キク亜科	6	4	
ヨモギ属	10	39	13
シダ植物胞子			
单条溝胞子	4		2
三条溝胞子			3
樹木花粉	116	75	116
樹木・草木花粉	0	7	1
草木花粉	132	337	227
花粉総数	248	419	344
未同定花粉	2	1	1
シダ植物胞子	4	0	5

第349次調査 花粉分析結果

2 方法

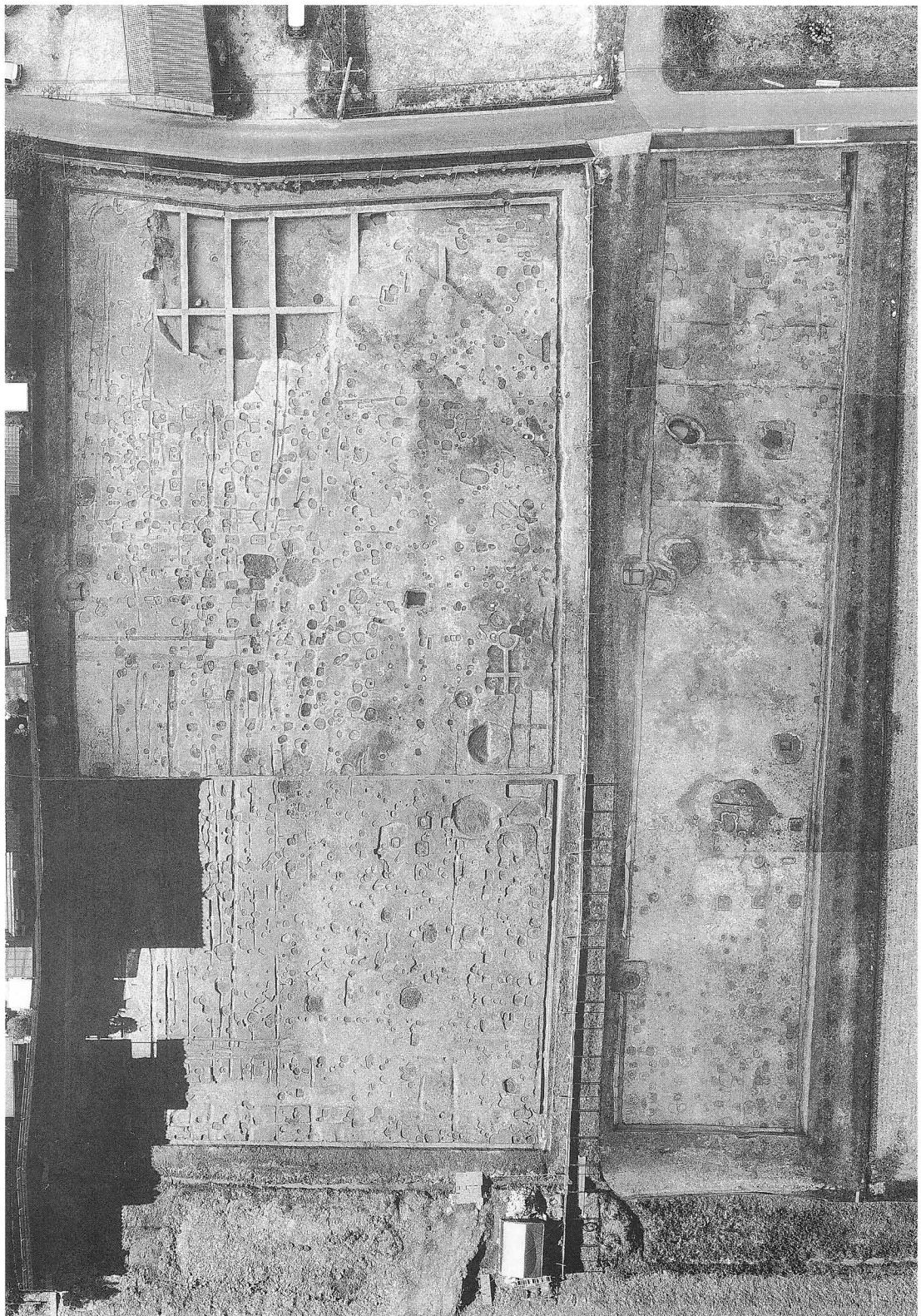
花粉粒の分離抽出、検鏡及び分類は、前述の第325次調査（第7発掘区）採取試料と同じ方法で行った。

3 花粉群集の特徴と推定される植生

AとCから比較的多くの花粉が産出し、花粉組成は比較的似る。樹木花粉ではマツ属単維管束亜属、ツガ属の針葉樹、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属—アサダ、ブナ属、コナラ属コナラ亜属を中心に出現する。草本花粉ではカヤツリグサ科が極めて優占し、イネ科、ヨモギ属、キク亜科、ワレモコウ属などが伴われる。

マツ属単維管束亜属が出現し、コナラ属コナラ亜属やブナ属が出現することから、周辺地域の上部には、ゴヨウマツ類（マツ属単維管束亜属）を主とする亜寒帯針葉樹林が分布し、下部には冷温帯の落葉広葉樹林が分布していた。気候としては寒冷で乾燥した気候が推定され、概ね最終寒冷期頃の可能性が示唆される。なお、堆積地はカヤツリグサ科が主に生育する湿地であったと考えられ、軽微な乾湿を繰り返し、乾燥したときには、ヨモギ属などが生育していたと推定される。

圖版

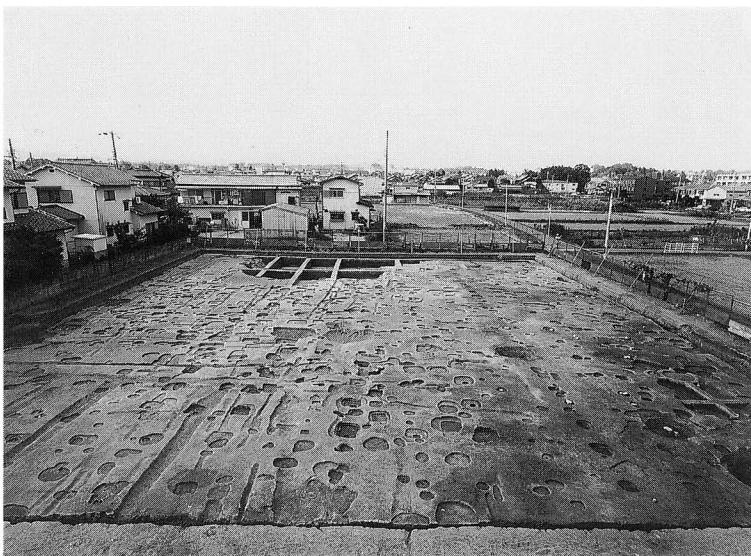


1 発掘区全景（右が北）

図版2

平城京右京一条二坊二坪

第327次
（第1発掘区）、
第351次
（第2発掘区）
(2)



2 第327次 第1発掘区
西半部（東から）

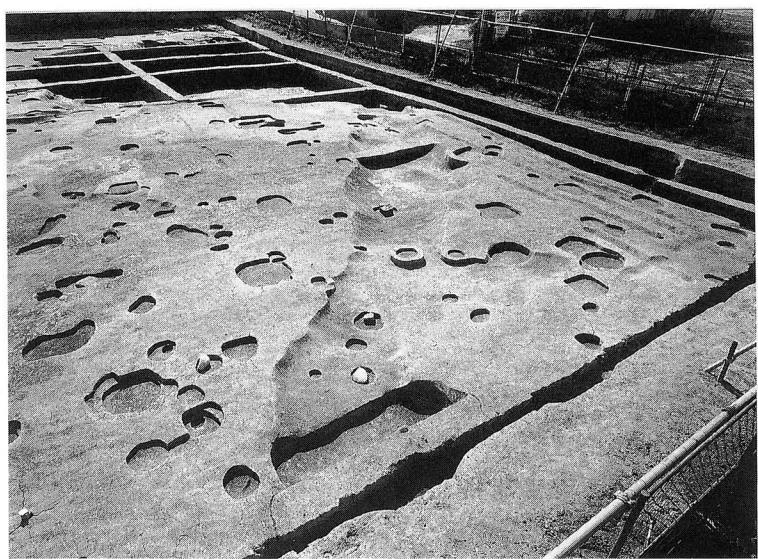


3 第327次 第1発掘区
東半部（東から）



4 第351次 第2発掘区
(東から)

5 溝S D109、土塙SK 601(北東から)



6 井戸SE520(西から)

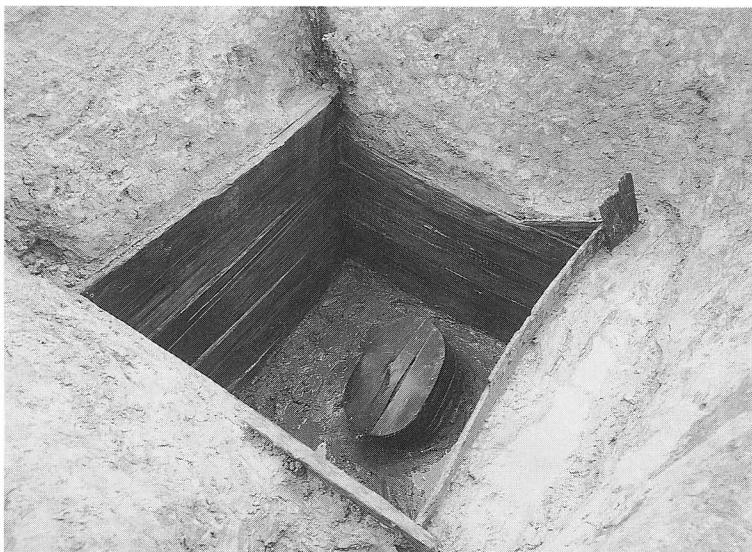


7 井戸SE524(東から)





8 井戸 S E523 (北から)



9 井戸 S E539 (北西から)



10 井戸 S E545 (北から)

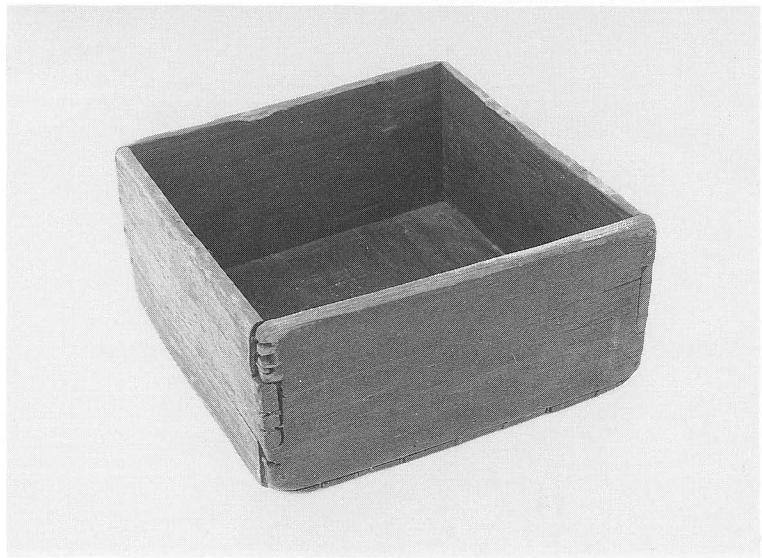
11 土器埋納土塙 S X804
(東から)



12 土器埋納土塙 S X805
(東から)



13 井戸 S E539出土 枝





1 発掘区全景（北から）



2 建物 S B 335・336
(西から)



3 建物 S B 339 (北から)



4 建物SB341(北から)



5 井戸SE531(南から)



6 井戸SE532(南から)

(1)



1 第2発掘区全景（北から）



2 第4発掘区全景（東から）



1 発掘区全景（上が北）

(2)



2 発掘区全景（北西から）



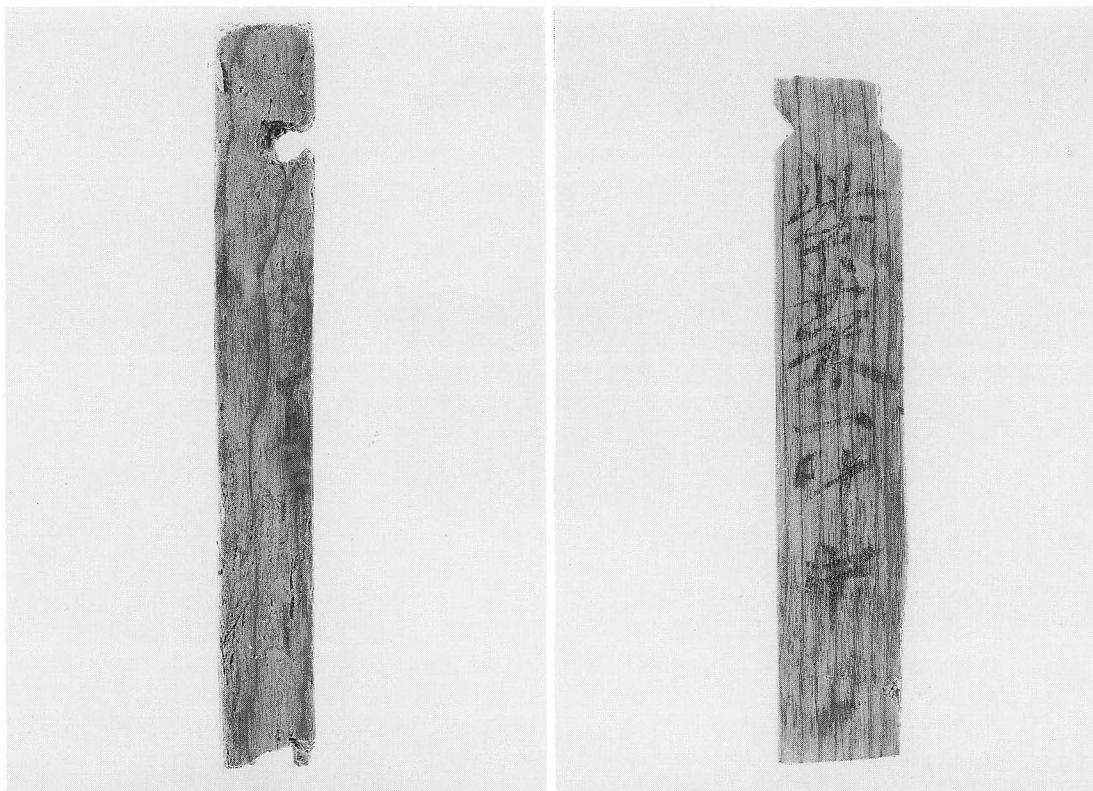
3 発掘区全景（南東から）



4 井戸 S E504 (東から)

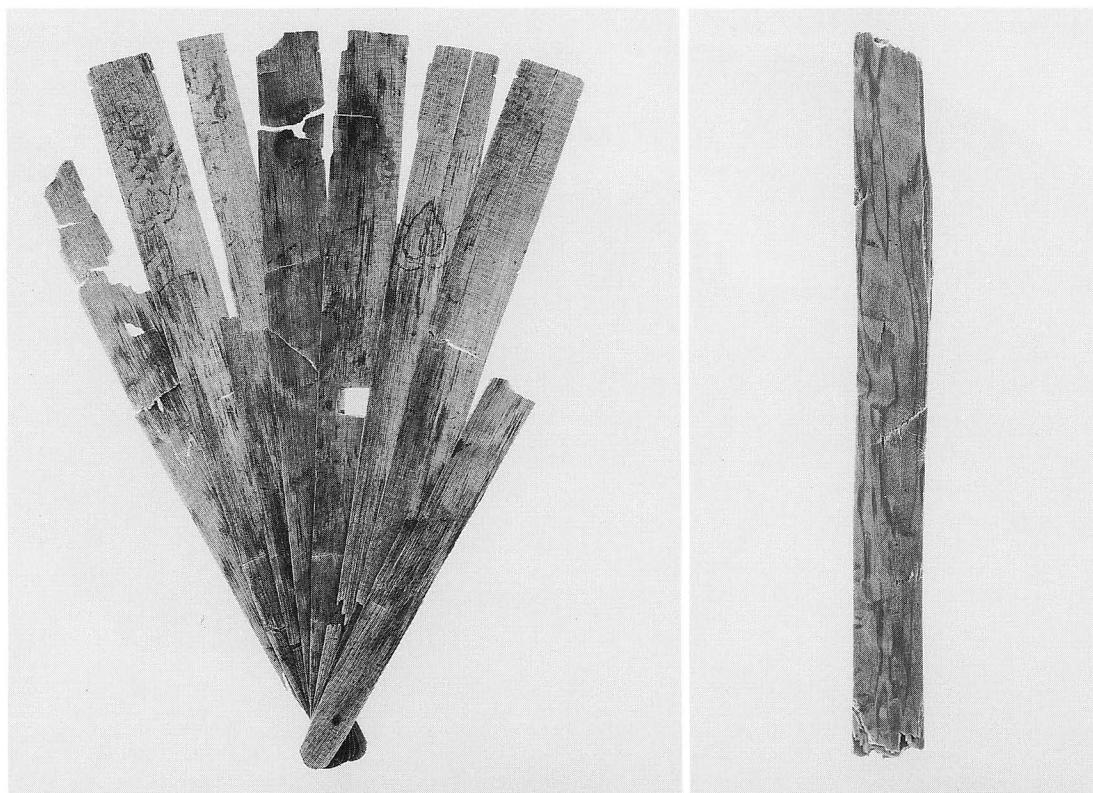


5 井戸 S E504 断割 (東から)



1 井戸 S E504出土木簡 三

2 井戸 S E504出土木簡 一

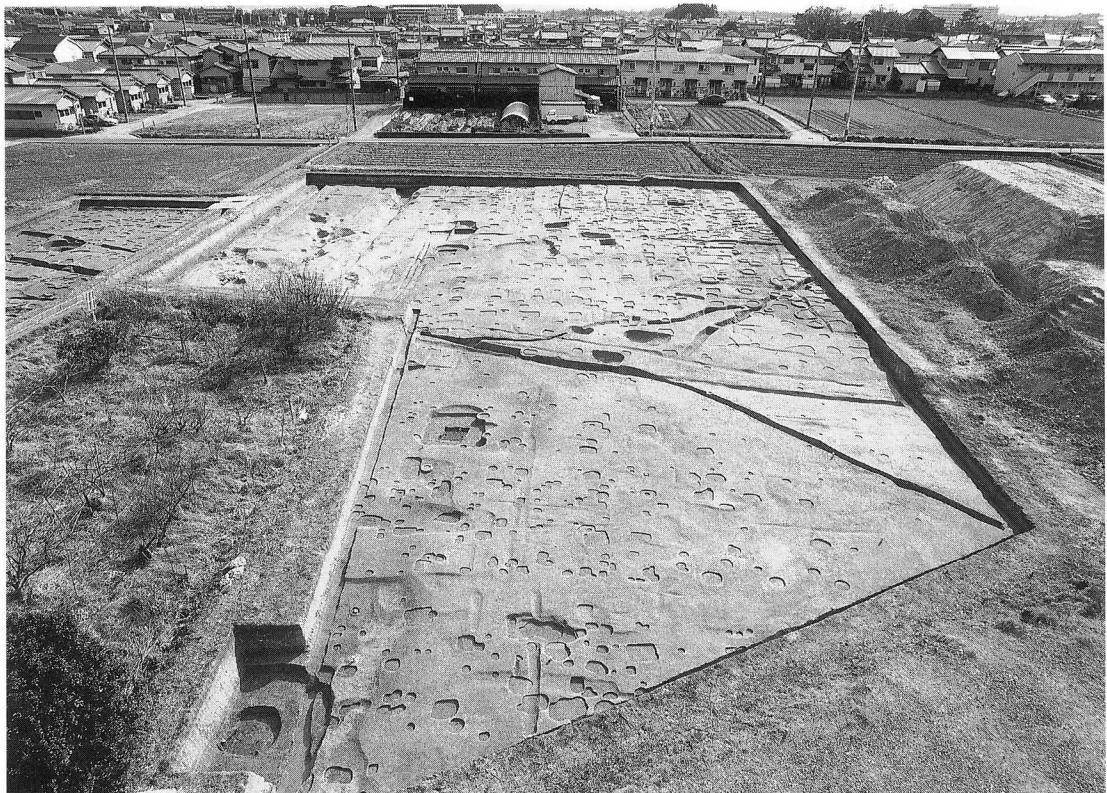


3 井戸 S E504出土木簡 1~8

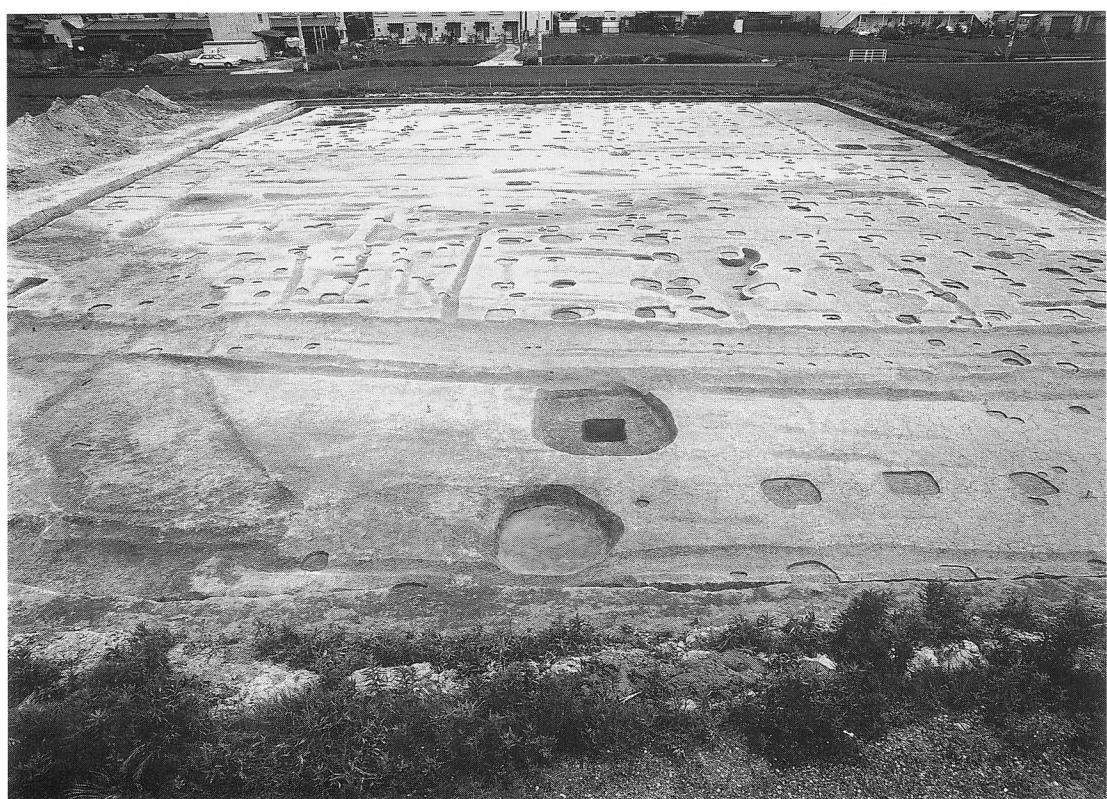
4 井戸 S E504出土木簡 二



1 発掘区全景（右が北）



2 第327次 第5発掘区西全景（北から）



3 第351次 第1発掘区全景（北から）



4 西三坊坊間路 S F 0611、同西側溝 S D103、同東側溝 S D104 (北から)



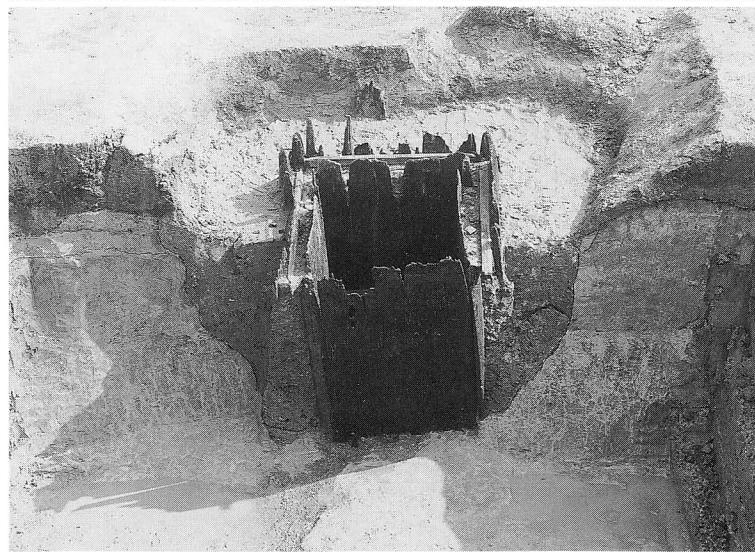
5 西三坊坊間路 S F 0611、同西側溝 S D103、同東側溝 S D104 (南から)



6 井戸 S E508 (西から)



7 井戸 S E510 (南から)



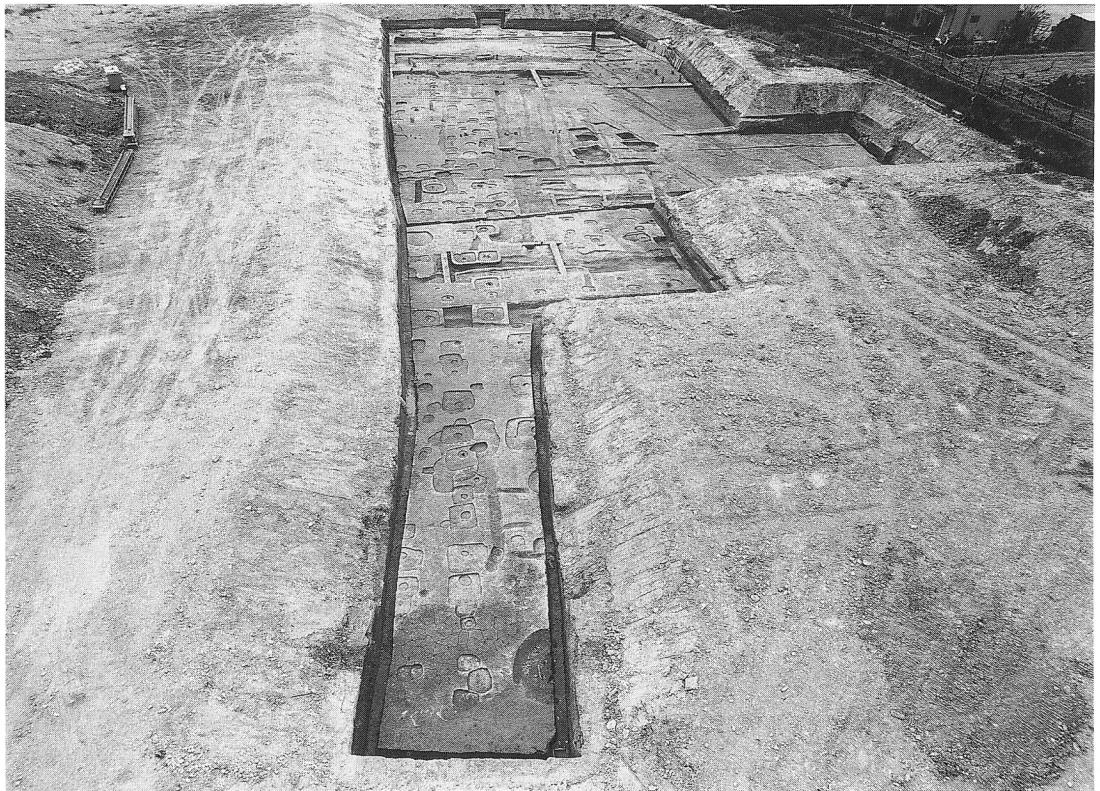
8 井戸 S E514 (北から)



1 発掘区全景（上が北）



2 発掘区全景（北東から）



3 発掘区全景（東から）